

JD

文化振興財団

経営状況説明書

公益財団法人浜松市文化振興財団の
令和6年度決算

目 次

	頁
1 令和6年度事業の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
2 令和6年度決算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	67

公益財団法人浜松市文化振興財団の令和 6 年度決算について

公益財団法人浜松市文化振興財団の令和 6 年度決算を地方自治法第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき次のとおり報告する。

浜松市長 中 野 祐 介

令和 6 年度

事業の報告

1 概況

(1) 芸術文化振興への主な取り組み

令和 6 年度の芸術文化振興活動においては、社会経済の緩やかな回復と物価の先行き不透明感が混在する状況下において、コストと効率性を意識しながらも、創造性をもち様々な事業企画に取り組みました。

6年ぶりの開催となった第12回浜松国際ピアノコンクールでは、市民・企業との協働や審査の体制など信頼性の高い運営が国内外から評価され、「音楽の都・浜松」としての都市ブランドを世界に発信することができました。

また、本年度はアクトシティ開館30周年を記念し、9年ぶりに上演された「浜松市民オペラ」をはじめとする市民との協働事業や話題性のある大型公演の浜松開催にも取り組み、浜松の芸術文化の魅力向上を図りました。

浜松アーツ&クリエイション事業では、市民が主体的に創造活動に取り組める環境の創出を目指し、異分野のクリエイター同士をつなぐ事業、クリエイターが地域や企業と連携して持続的な活動を展開できるパイロット事業、さらにはスタートアップ事業の企画にも取り組みました。

あわせて、ジュニアオーケストラ浜松・クワイア浜松育成事業、浜松市アクトシティ音楽院事業、こども音楽鑑賞教室事業等の運営にも力を入れ、次世代の文化を担う人材育成を推進しました。

これらの活動の蓄積により、これまで浜松市と財団が育てた人材が全国・世界での活躍を経たのち、指導者や演奏者として浜松の次世代の文化の育成に関わる「循環」が各事業に顕在化しています。これらの人材やネットワークを浜松市の「文化資産」ととらえ、「創造都市・浜松」の新たな価値創出へとつなげていきます。

(2) 所管施設の運営について

ア 指定管理施設の運営について

令和 6 年度は、10 施設の指定管理を実施しました。多くの所管施設においては、稼働率が新型コロナ前を上回ったものの、光熱水費、物件費、人件費、設備保守費等の高騰により収支面の不安要素が多くみられたことから、効率性を意識した慎重な運営に取り組みました。

各施設の主催事業では、周辺の企業や大学、地元団体と連携したイベント、地域クリエイターを起用した公演、地元商業者との協働マルシェ企画等、施設や地域の特長を活かした運営と地域活性化に取り組みました。

また、施設改修により令和 7 年 6 月まで全面休館中の浜北文化センターと、令和 7 年度から改修による部分休館が始まるアクトシティ浜松については、浜松市や工事関係者との調整を行うとともに、市民や関係者への影響を最小限に抑えるため、改修期間等に関する丁寧な情報提供や、代替施設に関する相談対応等、様々な施策を講じました。

なお、令和 6 年度は、アクトシティ浜松、楽器博物館、浜北文化センター、なゆた・浜北、市民ミュージアム浜北、秋野不矩美術館の 6 施設の次期指定管理の提案年度にあたりました。財団では、なゆた・浜北を除く 5 施設に応募し、令和 7 年度以降の次期指定管理として選定されました。

イ 施設の利用促進について

施設の利用促進を図るため、個別の利用目的に応じたサポートサービスや利用方法の提案を行うとともに、キャッシュレス決済や通信環境の整備も進め、社会情勢や利用者のニーズの変化にも対応し、利用者の満足度向上と施設稼働率の向上に取り組みました。

アクトシティ浜松においては、公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューローや民間施設と連携し、改修後のリニューアルオープンまでを見据えた大型コンベンションの誘致も進めました。

今後の施設運営においても、市民や利用者には選ばれる施設となるよう創意工夫と継続的な改善を重ねていきます。

(3) 法人経営について

令和6年度においても、社会や環境の変化に柔軟に対応できる職員の育成を目指し、自ら考え、工夫し、創造的に行動する力の向上に取り組みました。

芸術文化の専門知識の習得や業務改善提案などにより、職員が課題に対して小さな改善を重ね、それを組織全体へ広げていくことを目指しました。

また、リスク管理の一環として、大型施設における夜間少人数勤務体制時の大規模災害を想定した対応確認をアクトシティ浜松で行うなど、実践的な訓練を実施しました。

こうした工夫の積み重ねが財団の基盤となり、健全な組織風土を育て、社会の変化に応じた新たな価値を生み出す土台となるものと考えています。今後もこれらの取り組みを通じて、持続可能な法人経営の実現に活かしていきます。

2 経営成績

(1) 経営の推移

経常収益は、前年度比 103.4%の 2,531,790 千円となりました。このうち事業収益は、前年度比 26,288 千円の増となりました。これは、浜松国際ピアノコンクールの入場料収益や企業との共催事業による協賛金・共催事業収益によるものです。受取指定管理料等は、浜松市浜北文化センターの施設改修工事に伴う休館により、前年度比 35,887 千円の減となっています。受取負担金は、浜松市との共催事業に対する浜松市からの負担金で、浜松国際ピアノコンクールの開催により前年度比 109,481 千円の増となっています。

経常費用は、前年度比 103.9%の 2,496,659 千円となりました。電気料基本料金や人件費、原材料価格の上昇による物価高騰などにより厳しい状況となりましたが、管理経費の抑制等を継続するなど、効率化を意識した運営に努めました。

これらにより、当期経常増減額は 35,131 千円となりました。

指定正味財産の内訳は、浜松市文化協会の解散に伴い受け入れた残余財産を積み立てた事業基金と、一般からの寄付で受け入れた仲道子供音楽事業資産およびオークラ助成事業資産です。当年度は寄付金の受け入れと、仲道郁代ピアノ・リサイタルの開催に伴う仲道子供音楽事業資産の取り崩しにより、前年度比 595 千円の減となりました。

この結果、当期の正味財産期末残高は、前年度比 34,356 千円増の 3,448,000 千円を計上しました。

比較正味財産増減計算書

(単位:千円)

科目	R6 年度	R5 年度	R4 年度	対前年度比	
				R6/R5	R5/R4
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	7,337	5,083	5,188	144.3%	98.0%
特定資産運用益	1,593	1,547	3,853	103.0%	40.2%
事業収益	926,130	899,842	896,950	102.9%	100.3%
受取指定管理料等	1,288,817	1,324,704	1,340,807	97.3%	98.8%
受取受託金	112,502	107,039	107,519	105.1%	99.6%
受取補助金等	10,680	36,737	12,408	29.1%	296.1%
受取負担金	179,778	70,297	50,697	255.7%	138.7%
受取寄付金	2,880	1,840	6,951	156.5%	26.5%
雑収益	2,073	1,724	1,462	120.2%	117.9%
経常収益計	2,531,790	2,448,813	2,425,835	103.4%	100.9%
(2) 経常費用					
事業費	2,407,830	2,312,633	2,271,024	104.1%	101.8%
管理費	88,829	90,386	81,895	98.3%	110.4%
経常費用計	2,496,659	2,403,019	2,352,919	103.9%	102.1%
当期経常増減額	35,131	45,794	72,916	76.7%	62.8%
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	8,367	0	-	-
(2) 経常外費用	0	0	0	-	-
当期経常外増減額	0	8,367	0	-	-
税引前当期一般正味財産増減額	35,131	54,161	72,916	64.9%	74.3%
法人税及び住民税	180	346	292	52.0%	118.5%
還付法人税等	0	0	0	-	-
当期一般正味財産増減額	34,951	53,815	72,624	64.9%	74.1%

(単位:千円)

科目	R6 年度	R5 年度	R4 年度	対前年度比	
				R6/R5	R5/R4
一般正味財産期首残高	3,221,950	3,168,135	3,095,511	101.7%	102.3%
一般正味財産期末残高	3,256,901	3,221,950	3,168,135	101.1%	101.7%
II 指定正味財産増減の部					
特定資産運用益	4	4	4	100.0%	100.0%
受取寄付金	750	0	0	-	-
一般正味財産への振替額	△ 1,349	△ 1,744	△ 6,456	77.4%	27.0%
当期指定正味財産増減額	△ 595	△ 1,740	△ 6,452	-	-
指定正味財産期首残高	191,694	193,434	199,886	99.1%	96.8%
指定正味財産期末残高	191,099	191,694	193,434	99.7%	99.1%
III 正味財産期末残高	3,448,000	3,413,644	3,361,569	101.0%	101.5%

(2) 財政状況

資産の部の流動資産 703,517 千円の内訳は、現金預金等 556,620 千円、未収金 132,288 千円、未収利息 1,849 千円、棚卸資産 4,618 千円などとなっています。未収金は指定管理料収入や施設利用料金収入などです。

固定資産 3,401,387 千円の内訳は、基本財産が 2,139,769 千円、特定資産（退職給付引当資産、事業基金、広域文化基金、ピアノコンクール積立資産、大型公演事業積立資産、仲道子供音楽事業資産、文化芸術活動助成事業積立資産など計 10 資産）1,224,690 千円、その他の固定資産（什器備品、リース資産等）36,928 千円です。

負債の部の流動負債 311,606 千円の内訳は、未払金 152,808 千円、前受金 92,196 千円、賞与引当金等 31,603 千円、預り金 22,918 千円、リース債務 12,081 千円となっています。引当金とリース債務以外については、年度末事業経費や 3 月光熱水費等の未払金、翌年度の施設利用料や翌年度公演事業のチケット収入等の前受金、国税等の預り金などです。

固定負債 345,298 千円の内訳は、退職給付引当金 321,028 千円とリース債務 24,270 千円です。退職給付引当金は 100%の積立を行っています。

比較貸借対照表

(単位:千円)

科目		R6 年度末		R5 年度末		増減額 (A)-(B)	対前年度比 (A)/(B)
		金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
資 産	流動資産	703,517	17.1%	755,304	18.6%	△ 51,787	93.1%
	固定資産	3,401,387	82.9%	3,295,391	81.4%	105,996	103.2%
資産計 ①		4,104,904	100.0%	4,050,695	100.0%	54,209	101.3%
負 債	流動負債	311,606	47.4%	325,603	51.1%	△ 13,997	95.7%
	固定負債	345,298	52.6%	311,448	48.9%	33,850	110.9%
負債計 ②		656,904	100.0%	637,051	100.0%	19,853	103.1%
正 味 財 産	指定正味財産	191,099	5.5%	191,694	5.6%	△ 595	99.7%
	(うち特定資産への充当額)	191,099	5.5%	191,694	5.6%	△ 595	99.7%
	一般正味財産	3,256,901	94.5%	3,221,950	94.4%	34,951	101.1%
	(うち基本財産への充当額)	2,139,769	62.1%	2,139,769	62.7%	0	100.0%
	(うち特定資産への充当額)	712,563	20.7%	643,819	18.9%	68,744	110.7%
正味財産計 ①-②		3,448,000	100.0%	3,413,644	100.0%	34,356	101.0%

3 課題への対応状況と今後の方針

当財団が、市のパートナーとして公益目的事業を継続的に実施していくためには、社会環境の変化を的確にとらえた経営努力を重ね、安定的かつ持続可能な法人運営を維持していくことが重要と認識しています。

今後におきましても、持続的で着実な運営に努め、中間支援の機能を十分に発揮し、芸術文化活動が生み出す様々な価値を都市の活力につなげ、創造性豊かな浜松市の実現に寄与していきます。

(1) 効率性を意識した運営の推進

原材料価格やエネルギーコストを含む物価の高騰は、幅広い分野にわたり大きな影響を及ぼしており、今後の経済情勢については依然として不透明な状況が続いています。こうした外部環境の変化に対応すべく、当財団としては、運営の効率化を意識しながら可能な限り改善と工夫を積み重ね、持続可能な事業の遂行を目指していきます。

(2) 文化芸術の専門性を発揮できる人材の獲得について

近年の民間企業における給与水準の上昇に伴い、当財団の採用活動において応募者数の減少が見受けられるなど、厳しい状況にあります。文化芸術を担う財団として、質の高いコンテンツを構築する専門性に加え、多様な担い手との協働や連携を推進できる高いコミュニケーション能力を有する人材の確保は、運営の根幹を成す重要な要素となります。

このような観点から、今後も引き続き、当財団で働く意義や誇りに焦点をあてた情報発信に注力し、魅力ある職場づくりと優秀な人材の獲得に努めます。

4 令和6年度 事業活動報告

(1) 芸術文化公演（鑑賞型）の企画、運営及び提供

事業総括

令和6年度は、第12回浜松国際ピアノコンクールに関連する事業や、アクトシティ浜松開館30周年を記念した大型公演の開催に取り組みました。

また、仲道郁代をはじめ、浜松にゆかりのある音楽家を起用した演奏会や、若手演奏家によるシリーズ企画、そのほかエンターテインメント性の高いコンサートなど多彩で質の高い公演を企画・開催しました。

・アクト・プレミアム・シリーズ

世界トップレベルの演奏家を浜松に迎える独自企画です。令和6年度は、ヒラリー・ハーン(ヴァイオリン)、第12回浜松国際ピアノコンクール審査委員で世界的ピアニストのダン・タイ・ソン、第9回コンクール優勝者アレクサンダー・ガジェブによる3公演を実施しました。

・アクト・ニューアーティスト・シリーズ

今後の活躍が期待される若手演奏家を紹介する好評のシリーズ企画です。令和6年度は、第9回静岡国際オペラコンクール入賞者・山下裕賀(声楽)、国内主要コンクールで優勝歴のある大谷恵理架(ギター)など、5組の演奏家を選定しました。来場者はリピーターが多く、完売に近い回もありました。

・浜松にゆかりのある音楽家を起用した演奏会

浜松ゆかりの芸術家・仲道郁代のリサイタルシリーズや、浜松在住の著名チェリスト横坂源と浜松国際ピアノコンクール入賞者・沼沢淑音による室内楽公演など、浜松市が誇る音楽家を招聘した演奏会を開催しました。また、富士山静岡交響楽団の浜松での定期演奏会開催にも尽力しました。

・アクトシティ浜松開館30周年を記念した事業

令和6年度は、アクトシティ浜松開館30周年にあたり、様々な事業に記念冠をつけて開催しました。稲垣吾郎主演の舞台演劇「No.9—不滅の旋律—」やブラスとパーカッションによるステージ「blast!」公演など、地元マスメディアと提携した大型公演も招聘し、多彩な事業の上演に取り組みました。

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	入場率	内容
アクト・ニューアーティスト・シリーズ (クラシック界注目の若手演奏家によるアクトシティ独自のシリーズ企画)					
No. 143 佐川 和冴 (ピアノ)	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	7/28	172	95.6%	第21回東京音楽コンクール第1位。
No. 144 大谷 恵理架 (ギター)		8/24	202	91.8%	第52回クラシカルギター・コンクール他国内主要コンクールで優勝。
No. 145 本堂竣哉+小形然 (ピアノデュオ)		12/8	141	70.5%	東京藝術大学在学中のピアノデュオ。
No. 146 前田妃奈 (ヴァイオリン)		1/18	188	94.0%	第16回ヘンリック・ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクール優勝。
No. 147 山下裕賀 (メゾ・ソプラノ)		3/20	195	97.5%	第9回静岡国際オペラコンクール三浦環特別賞。

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	入場率	内容
アクト・プレミアム・シリーズ (一流演奏家によるコンサートシリーズ。コンサートホールである中ホールで開催するプレミアムなコンサートを展開)					
Vol. 36 ヒラリー・ハーン (ヴァイオリン) &アンドレアス・ヘフリガー (ピアノ)	アクトシティ浜松 中ホール	5/14	723	71.7%	グラミー賞を3度受賞、世界的人気を誇る21世紀を代表するヴァイオリニスト、ヒラリー・ハーンと実力派ピアニスト、アンドレアス・ヘフリガーによるコンサート。
Vol. 37 ダン・タイ・ソン (ピアノ)		6/17	806	80.0%	「真の芸術家」と称えられ、世界中の聴衆を魅了してやまないピアニスト。浜松国際ピアノコンクール審査委員を歴任。
Vol. 38 アレクサンダー・ガジェヴ (ピアノ)		7/13	629	62.4%	第9回浜松国際ピアノコンクール優勝、第18回ショパン国際ピアノコンクール第2位受賞。若い世代における世界のトップを走り続けるピアニスト。
The Road to 2027 プロジェクト in 浜松 仲道郁代ピアノ・リサイタル					
Vol. 9 「夢は何処へ」	アクトシティ浜松 中ホール	5/11	539	53.5%	浜松出身の日本を代表するピアニスト、仲道郁代が自身の演奏活動40周年となる2027年に向けて取り組むリサイタル・シリーズ。
Vol. 10 「シューベルトの心の花」		10/5	385	38.2%	
富士山静岡交響楽団 定期演奏会 浜松公演					
第124回	アクトシティ浜松 中ホール	5/26	484	-	指揮：鈴木優人 フルート：上野星矢
第125回		6/23	648	-	指揮：高関健 ピアノ：小林愛実
第127回		9/16	527	-	指揮：高関健
第128回		1/18	392	-	指揮：原田幸一郎 ヴァイオリン：竹澤恭子
第129回		2/9	446	-	指揮：高関健 ピアノ：松田華音
浜松トランペットサークル 10周年記念 BRASS フェスティバル	アクトシティ浜松 中ホール	5/25	429	-	浜松トランペットサークルの10周年を記念して開催したブラスの祭典。世界で活躍するトランペット奏者もゲスト招聘して公演。 主催：浜松トランペットサークル
ディズニー・オン・クラシック ～夢とまほうの贈りもの2024	アクトシティ浜松 大ホール	6/16	1,984	90.0%	ディズニー音楽を物語映像とともに、日本人ヴォーカリストとオーケストラの生演奏で披露した。 共催：K-MIX、Daiichi-TV
ピアノ・トリオの真髄	アクトシティ浜松 中ホール	6/22	406	40.3%	国際的に活躍する3人のトップソリストによる室内楽公演。 ヴァイオリン：南 紫音 チェロ：横坂 源 ピアノ：沼沢淑音

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	入場率	内容
第18回浜松いわた信用金庫 夢に追いかぜコンサート in 浜松 ～オーケストラが奏でる 童話の魔法～	アクトシティ浜松 中ホール	7/21	872	89.0%	毎年恒例のファミリーを対象としたクラシックコンサート。 共催：浜松いわた信用金庫、(公財)浜松交響楽団
blast!	アクトシティ浜松 大ホール	8/30	1,863	86.7%	ブラス、パーカッション、ヴィジュアル・アンサンブルが魅せる超絶技巧と究極のアンサンブル。 共催：テレビ静岡
KDDI スペシャル ロビン・ティチャーティ指揮 ロンドン・フィルハーモニー 管弦楽団 ピアノ：辻井伸行	アクトシティ浜松 大ホール	9/6	1,906	85.1%	イギリスの名門 ロンドン・フィルと、ヨーロッパで高い評価を得ている辻井伸行がベートーヴェンを贈るコンサート。 共催：エイバックス・クラシックス
ジブリの思い出がいっぱい オーケストラによる ドリームコンサート2024	アクトシティ浜松 中ホール	10/6	520	—	心に響くジブリの思い出の名曲をオーケストラとともに披露した。 主催：サモンプロモーション
大和ハウス Special アンドリス・ネルソンス指揮 ウィーン・フィルハーモニー 管弦楽団	アクトシティ浜松 大ホール※	11/8	1,394	—	世界中で愛されるオーケストラ、ウィーン・フィルと今最も多忙といわれる指揮者ネルソンスの新時代の名コンビによる日本公演。 主催：Daiichi-TV
辻井伸行 プレミアム・リサイタル2024	アクトシティ浜松 中ホール	12/14	975	97.7%	厳選されたクラシック専用ホールでのみ開催される辻井伸行のリサイタルツアーの浜松公演。 共催：中日新聞東海本社
ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会	アクトシティ浜松 大ホール	12/15	2,183	99.0%	ディズニーの名曲をオーケストラとヴォーカリストの生演奏で届ける音楽会。浜松公演はクリスマス特別公演として開催。 共催：K-MIX、Daiichi-TV
舞台 「No.9 不滅の旋律」	アクトシティ浜松 大ホール※	2/1～2	4,495	97.2%	19世紀初頭の「音楽の都」ウィーンを舞台に、ベートーヴェンの苦悩の人生と創作の輝きを演じた。 出演：稲垣吾郎、剛力彩芽ほか 共催：テレビ静岡、K-MIX、中日新聞東海本社
オーケストラ・アンサンブル 金沢	アクトシティ浜松 中ホール	3/9	608	60.3%	日本発のプロフェッショナル常設室内管弦楽団として1988年に設立されたオーケストラ。 指揮：沖澤のどか チェロ：鳥羽咲音
合 計		27 事業	24,112	79.1%	

※大ホール中規模利用

(2) 芸術文化事業の調査、情報収集及び情報提供

事業総括

令和6年度のアクトシティ浜松友の会運営事業では、発足30周年を記念した周年企画の実施やサービスの拡充に取り組みました。

文化事業の広報活動においては、XやInstagramなどのSNSを積極的に活用した情報発信に加え、Web広告との連動によるチケット販売促進、紙情報誌の継続発行など、多様な媒体を活用しました。

・アクトシティ浜松友の会発足30周年記念イベント

在京オーケストラで活躍中の神農広樹ら浜松出身奏者3名を招いたアフタヌーンコンサートを開催しました。会場のオークラアクトシティホテル浜松がこの日の為に特別に創作したデザートも提供し、特別感を演出しました。

・アクトシティ浜松友の会発足30周年記念企画

遠州鉄道株式会社と提携し、友の会会員向け30周年記念企画「おかえり切符サービス」を実施しました。大変好評だったことから令和7年度もサービスを継続する予定です。

・広報活動の強化

YouTubeや各種SNS（Facebook、X、Instagram）に加え、令和6年度よりnoteの広報活用を開始しました。紙情報誌のインタビュー記事を再編集してnoteに投稿し、SNSやweb広告・チケット販売サイトと連動させることにより、市内外へ広く情報を発信・販売促進できる体制を整えました。

ア アクトシティ浜松友の会「ビバーチェクラブ」の運営

(ア) 会員数

()内は前年度実績

内 訳		人 数 (人)	
全会員数 (令和7年3月31日現在)		5,398	(4,930)
内、令和6年度新規入会者	オンライン入会	933	(389)
	オンライン入会	785	(289)
	窓口入会	148	(100)

(イ) 友の会会員限定コンサートの開催

事業名	会場	開催日	応募状況(席)	入場者数(人)
30周年記念 アフタヌーンコンサート	オークラ アクトシティホテル浜松	9/24	応募 124 当選 80	75

イ 広報活動

活動名	内 容
財団公式ホームページサイト 管理運営	https://www.hcf.or.jp/ 企画事業及び財団所管施設の紹介のほか、法人としての最新情報やお知らせを発信。
SNSによる情報発信	YouTubeやSNS（Facebook、X、Instagram、note）を活用した広報活動を展開。
情報誌「HCF News」の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・財団事業についての記事を掲載。 ・年2回発行（令和7年1月末時点で第54号まで発行）、発行部数10,000部。 ・電子書籍による公開。

活 動 名	内 容
財団事業活動報告書及び活動紹介映像の制作	令和5年度事業活動報告書の発行・配布のほか、活動紹介映像を制作及びWeb上で公開。
事業の広報	事業のチラシ・ポスター等の製作、配布及び各種広告・広報媒体へ情報を掲出。インターネットによる検索連動型広告やディスプレイ広告による広報活動。
デジタルサイネージの活用	アクトシティ内財団事務室受付、市民ロビー他での映像による事業広報。

ウ HCF オンラインショップの運営

オンラインによるチケット販売（委託販売を含む）及び財団作成CD・DVD・書籍・グッズ等の販売

【取扱商品】

- ・市内文化団体自主イベント、市内外施設公演及び財団主催公演のチケット
- ・浜松国際ピアノコンクール関連製品（CD）
- ・バンド維新等の財団主催事業の関連製品（CD、スコア集、パート譜）
- ・浜松市楽器博物館製作のCD・DVDコレクション
- ・浜松文芸館出版書籍

エ アクトシティ浜松 インフォメーション・チケットセンターの運営

- ・アクトシティ施設案内、公演情報の提供
- ・財団のチケット販売専用端末の設置及びチケットの販売（主催公演及び一般からの受託公演）
- ・アクトシティ友の会会員のチケット販売及び引換

(7) チケット及びグッズ取扱の実績

() 内は前年度実績

		注文件数 (件)	販売枚数 (枚)	販売金額 (円)	取扱公演数 (件)
一般販売	店 頭	7,291 (7,736)	14,040 (15,168)	42,914,670 (42,683,040)	296 (372)
	オンライン	5,388 (4,062)	10,578 (7,366)	44,161,200 (33,463,580)	
	合 計	12,679 (11,798)	24,618 (22,534)	87,075,870 (76,146,620)	
友の会販売	電 話	2,490 (3,147)	4,338 (4,741)	29,002,650 (26,164,320)	111 (145)
	店 頭	873 (1,022)	1,706 (2,436)	5,451,710 (5,669,850)	
	オンライン	6,779 (4,890)	13,439 (8,180)	80,286,850 (45,662,070)	
	合 計	10,142 (9,059)	19,483 (15,357)	114,741,210 (77,496,240)	
合 計		22,821 (20,857)	44,101 (37,891)	201,817,080 (153,642,860)	407 (517)

(イ) グッズ（書籍・CDなど）販売

() 内は前年度実績

	注文件数 (件)	販売金額 (円)
グッズ販売 (店頭・オンライン)	58 (29)	459,794 (130,035)

(3) 芸術文化活動の支援及び交流の促進

事業総括

市民の主体的な創造活動の活性化に向け、様々な市民参画型事業や中間支援事業を実施しました。

市内文化団体が自ら企画・出演する「浜松市民文化フェスティバル」や「浜松市芸術祭 演劇・人形劇部門」、9年ぶりの上演となった「浜松市民オペラ」のほか、東京藝術大学との提携事業や、著名作曲家が学生を直接指導する「バンド維新」事業など、幅広い層の文化活動と人材育成に取り組みました。

また、浜松アーツ&クリエイション事業では、クリエイター、地域、企業をつなげ、持続性ある創造活動の支援拡充に努めました。

- ・浜松市民文化フェスティバル 2024

市民の日頃の文化活動の成果発表と交流促進を目的とした事業で、地域文化団体等に参加を募りました。その結果、11部門にわたる様々なジャンルの団体や学校が参加しました。

- ・第8回浜松市民オペラ「音詩劇 かぐや」

アクトシティ浜松開館 30周年を記念した創作オペラです。市内音楽団体、浜松市、財団による実行委員会形式の事業ですが、制作・作曲・出演・演奏のすべてに浜松市民、浜松ゆかりの音楽家、市内合唱団や交響楽団が携わった市民主体の舞台となりました。

- ・第32回ハママツ・ジャズ・ウィーク

参加年齢層の拡大を図るため、新企画「楽器体験ワークショップ」を事業ラインナップに加えしました。この試みにより、幼児を含む家族層の参加率が向上し、入場者数にも増加がみられました。

- ・浜松アーツ&クリエイション事業

令和6年度は、新たに6本のプロジェクトを立ち上げました。「地域(天竜区春野町)」を活用した「novel box in HARUNO」企画や、企業とクリエイターをつないだ「入ってみる、食べてみる アート展」、日常生活の場とアートをつなぐ「ドコデモアルト クリスマスのまえのよる展示会」など、企画ごとに異なるアプローチを用いた支援活動を行いました。そのほか、「浜松市創造都市推進事業補助事業」や活動実態調査、活動への助言・伴走支援を行いました。

ア 文化振興事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
第54回 日本吹奏楽指導者クリニック	アクトシティ浜松	5/17~19	870 (受講者数)	学校及び一般吹奏楽指導者を対象とした講座・コンサート・バンドフリーマーケットの総合講習会。 共催：日本バンドクリニック委員会、 全日本小学校管楽器教育研究会、 (株)ヤマハミュージックジャパン
第70回浜松市芸術祭 演劇・人形劇部門 (8企画)				
人形劇公演	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	10/6	191	市内の演劇愛好者が企画・運営に参画し、 市民劇団の舞台公演を中心にワークショ ップや招聘公演を開催。
演劇自主公演 MUNA-POCKET COFFEEHOUSE	クリエート浜松	11/16・17	440	
演劇自主公演 劇団からっかぜ	浜松市勤労会館	12/1	232	
演劇自主公演 演劇ユニット FOX WORKS	浜松市勤労会館	12/8	148	

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
演劇自主公演 シニア劇団浪漫座	浜松市 なゆた・浜北	12/15	490	
高校演劇選抜公演	浜松市 なゆた・浜北	12/21・22	326	
演劇オムニバス公演	浜松市鴨江 アートセンター	1/18・19	204	
演劇ワークショップ	浜松市曳馬 協働センター	2/9	36	
浜松市民文化フェスティバル2024 (11部門)				
展示部門 「絵・写・書・茶・花」展※	クリエート浜松	8/23～25	—	市民文化団体による音楽・舞踊公演及び 作品発表。多彩なジャンルの団体が日頃 の研鑽の成果を発表した。 (※印 クリエート浜松が主管)
民踊と舞踊の集い	アクトシティ浜松 大ホール	9/16	600	
浜松おどり	アクトシティ浜松 大ホール	9/21	370	
第17回吹奏楽 トップコンサート	アクトシティ浜松 大ホール	9/22	2,234	
特別支援学校作品展	アクトシティ浜松 市民ロビー	9/28・29	—	
バレエ・ダンスの祭典	アクトシティ浜松 大ホール	10/6	1,200	
第20回邦楽演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	10/14	800	
浜松市民合唱祭2024	アクトシティ浜松 中ホール	10/20	1,000	
詩吟・琵琶演奏会	浜松市勤労会館	11/17	210	
第21回浜松市中学校総合 文化祭 ステージ部門	サーラ音楽ホール	11/23	800	
第21回浜松市中学校総合 文化祭 展示部門 ※	クリエート浜松	12/3～8	—	
第8回浜松市民オペラ 「音詩劇 かぐや」	アクトシティ浜松 大ホール	9/28・29	2,266	古典文学「竹取物語」を題材にした創作 オペラを市民が企画・制作し上演した。 主催：第8回浜松市民オペラ実行委員会
第32回 ハママツ・ジャズ・ウィーク	アクトシティ浜松 他	10/19～27	20,000	浜松市がジャズ一色になる恒例のイベン ト。ジャズが持つ「大衆性・芸術性・多様 性」を活かし、子どもから大人まで幅広い 世代に渡って楽しめる機会を提供。 今回は子ども向けに楽器体験ワークショ ップを新たに組合せ、子どもたちの興味 や関心を引き出した。 共催：浜松市、ヤマハ株式会社、静岡新 聞社・静岡放送、ヤマハ音楽振興会

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
東京藝術大学 早期教育プロジェクト in 浜松	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	2/8・9	受講者数 11	東京藝術大学と地域とが協働して取り組む逸材発掘プロジェクト。 主催：東京藝術大学
バンド維新 2025	アクトシティ浜松 中ホール	3/16	792	作曲家が新曲を制作しながら、市内の学生吹奏楽団に曲解指導と初演を実施した。
演奏者派遣事業	市内各所	62回	-	コンサートを主催したい施設・団体の運営サポートを行うとともに、地域の演奏家に活動の場を提供
合 計		8事業	33,220	

イ 浜松アーツ&クリエイション事業

(ア) 浜松市創造都市推進事業補助金に関する業務

事業名	実施内容	期間	件数 (件)	内容
浜松市創造都市推進事業補助金応募者の 事前相談対応		4/1～30	33	浜松市創造都市推進事業補助金について、申請に関する相談を受付。
審査支援業務	一次審査 (書類審査)	5/15	19	応募件数：28件
	二次審査 (プレゼンテーション)	6/1 6/7・8	16	採択件数：市民活動団体枠8件、 アーティスト枠8件
採択者への伴走支援	各採択団体の支援	7～2月	-	各団体の活動準備状況確認、個別の相談に対応、マスメディアへの情報提供、掲載依頼等。

(イ) 浜松市民の文化活動・創造的な活動の調査および支援

事業名	期間	件数 (件)	内容
ヒアリング調査	通年	80	市内で文化活動・市民活動をしている方を対象としたヒアリング。
文化活動視察	通年	50	浜松市内外で行われている事業を視察。
一般の相談対応	通年	37	広く市民からの文化創造活動の相談に対応。 (電話・メール・リモート・対面)
合 計	3事業	167	

(ウ) 浜松市民活動支援事業

事業名	会場	開催日	参加者数 (人)	内容
市内で創造的な文化芸術活動を実施する個人・団体が抱える課題解決に資する支援				
ドコデモアルト クリスマスのまえのよる 展示会	イオンモール 浜松志都呂 2F イオンホール	12/15～ 12/22	879	公募により集まった 28 組のアーティストによる展示。作品販売、ワークショップ、パフォーマンスを実施。活動を発表する「場や機会」を創出した。
市内で創造的な文化芸術活動を実施する個人・団体の活動の活性化に資する支援				
入ってみる、食べてみる アート展	春華堂 POP UP STORE KANDA	4/5～7 4/12～14	1,877	浜松ゆかりのアーティスト6名によるアート作品の展示およびワークショップの実施。アーティストと市内企業を結びつけ、アーティストの活躍の場を広げた。
クリエイターズファイル Vol.1 発行	-	-	-	浜松市内で生業として活動するクリエイター35名を紹介する冊子の発行。プロフィールやアピールポイント、画像等を掲載し、活動の発信や企業とのマッチングにつなげる。
novel box in HARUNO	天竜区春野町 正久工業倉庫	2/2 2/8.9	252	春野町にゆかりのあるアーティスト7名による地域の調査と成果発表を実施。地域で活動するアーティストをつなぎ、アーティストと地域住民、企業、行政がつながるきっかけを創出した。
HAMAMATSU ReCreation LABO りくらぼ	Any	2/28	22 (12 団体)	文化芸術により異ジャンル多分野がつながり、広く街の文化が形成される取り組みの一環として交流の場を創出した。
おむすば	はままちプラス	3/28	6	既存の枠を超えて新たな活動意欲を生み出す機会を創出し、アーティストのさらなる活動の幅を広めるための情報交換の場を創出した。
合計		6 事業	3,036	

(エ) 情報発信事業

事業名	内容
公式ホームページサイトの管理運営	浜松市創造都市推進事業補助金採択事業や浜松市内における芸術文化活動の担い手等を紹介。
SNS による情報発信	SNS (Facebook、Instagram、X) を活用して、補助金採択事業や浜松アーツ&クリエイションの活動を紹介。
News Letter の発行	Vol. 17～20 発行。各 2,000 部。市内施設やクリエイターほか、国内「アーツカウンシル・ネットワーク」加盟団体に配布。公式ホームページにも Web 掲載。

ウ はままつ文化芸術活動助成事業

文化団体自ら企画運営する創造的な文化活動で、その成果が浜松の文化に還元される事業を支援助成する制度。年2回募集。助成金額上限10万円。

(ア) 募集状況

() 内は前年度実績

	申請件数 (件)	採択件数 (件)
第1回募集 (令和6年1月実施)	29 (26)	13 (14)
第2回募集 (令和6年8月実施)	38 (28)	12 (10)
合 計	67 (54)	25 (24)

(イ) 採択事業 (令和6年4月～令和7年3月開催分)

事業名	会場	主催者名	開催日	内 容	助成金額 (円)
第18回 静岡県マンドリン フェスティバル	アクトシティ浜松 中ホール	静岡県 マンドリン フェスティバル 実行委員会	4/7	静岡県内の社会人マンドリン演奏団体を集め、演奏会を開催。	47,014
Musicians Association Hamamatsu 第2回定期演奏会	クリエート浜松 ホール	Musicians Association Hamamatsu	5/11	ピアノ、ヴィオラなどの音楽家が一年の研鑽を披露。	100,000
ラインホルト・フリードリヒ トランペット演奏講座& ミニコンサート	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	浜松 トランペット サークル	5/22	ゲストに R.フリードリヒを招き学生を対象に演奏と指導を行った。	100,000
27th 浜松ジャズデイ	浜松市 ギャラリーモール	浜松ジャズ 協会	5/26	浜松で活動しているジャズバンドが出演し演奏を披露。	100,000
グランドハーブアンサンブル レザミ 第1回演奏会	クリエート浜松 ふれあい広場	グランドハーブ アンサンブル レザミ	6/2	ハーブ四重奏での演奏。音楽付きの朗読やグランドハーブの体験会も開催。	100,000
第35回浜松合唱団 定期演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	浜松合唱団	6/16	パイプオルガンの伴奏による合唱を披露。観客との合唱コーナーも行った。	100,000
遠州さんちの Fabric Room	みかわやコトバコ、 gramme	BABYBOX Supporters	7/26～ 28	デザイナーによる展示会、服飾品製作のワークショップを開催。	100,000
MUSICBAR HAMAMATSU	新川モール、 Any	宮井知美	9/6～ 10/28	浜松近郊で活動する多ジャンルの演奏家たちによる屋外ライブ。	100,000
長唄三味線の魅力 松永鉄九郎ライブ	MerryYou	石川 朋子	9/23	中心市街地のライブハウスにて長唄三味線を演奏。	100,000
第1回天竜オカリナ フェスティバル	浜松市 天竜壬生ホール	天竜オカリナ フェスティバル 実行委員会	9/28	オカリナ愛好家によるフェスティバル。	100,000

事業名	会場	主催者名	開催日	内容	助成金額 (円)
光の言葉「わ」 トークライブコンサート in 三ヶ日	静岡県立 三ヶ日青年の家	三ヶ日あいうえお プロジェクト 実行委員会	10/6	「命」をテーマにした8名の 出演者によるトークライブ。	100,000
第57回遠江能楽の会 発表	クリエート浜松 ホール	遠江能楽の会	10/27	能楽愛好家による発表会。	64,358
Against the Wind —ムカイカゼ vol.3—	浜松市 ギャラリーモール ソラモ	Against the Wind 実行委員会	12/1	屋外で開催するバンド演奏 のフェスティバル。	100,000
夢のカケラ —あなたと笑いあいたい (ワンマンライブ)	Live House 浜松窓枠	鈴木浩子	12/8	シンガーソングライターに よるレコード発売を記念し たライブ。	100,000
3人アンデス 全国ツアー in 浜松	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	アンデス浜松	12/9	アンデス音楽の普及を目指 した全国ツアーの浜松公演。	100,000
秋野不矩青春紀行展	秋野不矩美術館 市民ギャラリー	天竜高校同窓会 二俣木の花会	12/10～ 15	市民などが所有する秋野不 矩作品の展示会。	100,000
創立45周年記念 第9回 浜松男声合唱団演奏会	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	浜松男声合唱団	12/14	浜松混声合唱団の周年記念 事業。	100,000
クリスマスとっておき 演奏会 vol.2	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	pomecolo	12/21	フルートと箏によるコンサ ート。	74,307
伊藤春菜ピアノリサイタル	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	林ひろみ	1/25	愛知県立芸術大学出身者に よるピアノリサイタル。	90,000
おはなしとおんがく 「かっぱの総理大臣」	浜松市地域 情報センター	内田順子	2/2	エレクトーンとパーカッシ ョン演奏と朗読。	100,000
国立音楽大学で学んだ東海 地区ゆかりの奏者による ～クラリネットアンサンブ ルの世界～vol.2	クリエート浜松 ホール	クラリネット 四重奏 Mois	2/15	国立音楽大学卒業生による クラリネットアンサンブル。	100,000
浜松クラリネット・クワイアー 第23回演奏会	浜松市福祉交流 センター ホール	浜松クラリネッ ト・クワイアー	2/23	クラリネットのみで構成さ れる団体の演奏会。	100,000
第12回全国職場 バンドフェスティバル	アクトシティ浜松 大ホール	全国職場バンド 実行委員会	2/23	全国から職場吹奏楽バンド が集まるフェスティバル。	100,000
第45回 天竜地区芸能連盟大会	浜松市 天竜壬生ホール	天竜地区 芸能連盟	3/9	天竜地区で活動する市民芸 能団体の発表。	100,000
渡邊貴裕 日本画展 ～Chloé～	秋野不矩美術館 市民ギャラリー	渡邊貴裕	3/24～ 30	東京から浜松に移住した画 家による個展。	97,200
合 計			25 事業		2,372,879

エ 浜松市内文化団体・文化協会

(7) 浜松市浜松文化協会

合併前の旧浜松市で活動する主要な文化団体によって構成され、各団体の活動状況の把握や意見調整等を行った。

- 第1回 令和6年7月29日 会場：クリエート浜松
- 第2回 令和7年2月3日 会場：クリエート浜松

(イ) 浜松市内文化協会連絡会

合併後、浜松市となった地域の文化協会（11団体）によって構成され、広域となった市の文化状況を把握するとともに、支援を行った。

- 第1回 令和6年8月1日 会場：浜松市天竜壬生ホール
- 第2回 令和7年1月30日 会場：サーラ音楽ホール

(ウ) 浜松市内文化協会助成金

浜松市内文化協会連絡会に加盟する文化協会10団体が実施する文化活動に対し、最大15万円を助成。

採択事業（令和6年4月～令和7年3月開催分）

事業名	会場	主催者名	開催日	内容	助成金(円)
春野文化協会体験会	浜松市春野文化センター	春野文化協会	7/7	会員の減少、高齢化の進む中、会員加入を目的に体験会を実施。	94,124
第20回天竜芸術祭 芸能発表会	浜松市 天竜壬生ホール	天竜文化協会	10/27	天竜地区で活動する文化活動団体や市民芸術愛好者による発表。	150,000
はまきた児童・生徒の絵画・書道作品展	プレ葉ウォーク 浜北	浜北文化協会	11/2～4	旧浜北区内の児童・生徒の絵画及び書道作品を募集・展示。	150,000
第62回浜松市細江文化祭 芸能発表会	みをつくし文化センター	細江文化協会	11/3	文化協会員による写真・絵手紙・書道・絵画等を展示。	150,000
第24回ふれあい文化祭 天竜川絵画公募展大賞受賞作品 特別展示	浜松市 龍山森林文化会館	龍山文化協会	11/23～ 29	展示会を通して流域住民との交流、地域資源の重要性の再発見と地域振興に繋がった。	108,108
ERIKO コンサート	引佐多目的 研修センター	引佐文化協会	1/26	浜松市出身のボーカリストを招聘しコンサートを開催。	150,000
会報「いのはな」発行	—	三ヶ日文化協会	—	三ヶ日文化祭を中心に文化協会の活動実績を掲載。	150,000
合 計			7事業		952,232

オ インターンシップ実習受け入れ

市内や静岡県内外の大学生を中心に受入。受入に伴い、事前ガイダンスを実施した後、各課・館にて実習を行った。所管施設での受け入れは各所管施設にて報告。

実習期間：令和6年8月4日～11月24日の内、各プログラム5日程度
文化事業課受入れ人数：11人（6大学）

(4) 浜松市の行う芸術文化事業の受託と協力

事業総括

令和6年度においても、「創造都市・浜松」の実現に向けて、国際事業から市内児童を対象とした育成事業まで、様々な規模・分野・層を対象とした事業を実施しました。

・浜松ジュニアオーケストラ・クワイア事業

令和6年度の定期演奏会は第30回を記念し、両団合同開催としました。また、これまでのあゆみを振り返る展示企画を同時開催し、団員の成長と団の成果を保護者や関係者、一般市民に披露しました。

・浜松市アクトシティ音楽院事業

これまで学校限定だったジャズクリニック事業に社会人向け講座を追加したほか、公式ホームページのデザインとメニューを刷新して情報拡充と見やすさ改善を図り、より多くの市民が参加しやすい、音楽文化の裾野が広がる取り組みを行いました。

・浜松国際ピアノコンクール事業

令和6年度は、6年ぶりの開催となる第12回コンクール本番年でした。過去最多の638人の応募があり、前売チケットが完売するなど、大会前から大きな注目を集めました。また、今大会ではコンクール初の日本人優勝者が誕生しました。令和7年度からは、優勝者ツアーや入賞者ガラコンサートを開催し、コンクールと浜松市の事業成果を国内外に発信します。

上記に加え、パイプオルガン関連事業、浜松吹奏楽大会事業、音楽文化都市交流事業、こども音楽鑑賞事業など、多彩な創造都市事業を浜松市とともに推進しました。

ア パイプオルガン関連事業

事業名	会場	開催日	入場者数(人)	内容
オルガンミニコンサート	アクトシティ浜松 中ホール	4/19 7/11 8/14 2/8	216 187 306 255	アクトシティのパイプオルガンと中ホールを多くの市民に知っていただくための無料の短時間コンサート。
オルガン演奏会事業	浜松市 福祉交流センター	5/22 9/16 12/19 3/12	216 213 251 114	福祉交流センターのパイプオルガンを通じて、市民のオルガンに対する理解や関心を深める。9月は福祉交流センター40周年記念コンサートとして開催。
オルガンレクチャー	浜松市 福祉交流センター	6/12	22	オルガンの歴史や仕組みが分かるDVDを観たり、実際にオルガン演奏台で楽器の内部構造を見たりして、オルガンに親しんでいただくための入門講座。
オルガンにふれてみよう！	浜松市福祉交流センター アクトシティ浜松 中ホール	7/20 8/12	41 39	小学生以上を対象に、アクトシティ浜松や福祉交流センターのオルガンを弾いてみる機会を提供。
第14回 オルガンのパイプを作ってみよう！	アクトシティ浜松 中ホール コンGRESSセンター 43・44会議室	8/23	59	夏休みの小・中学生向けワークショップ。オルガンの音の鳴る仕組みを学びながら、紙でパイプを作成。
合計		5事業	1,919	

イ まちなかコンサート開催事業

事業名	会場	開催回数	入場者数(人)	内容
プロムナードコンサート	JR 浜松駅 北口広場キタラ 他	18回	7,500	浜松市内の学校及び一般の吹奏楽演奏団体が出演する無料イベント。市民に発表・鑑賞・交流の機会を提供。(24回開催予定のうち雨天による中止6回) 協力：浜松市吹奏楽連盟
プロムナードコンサート 開催40周年記念事業	JR 浜松駅 北口広場キタラ 他	2回	900	プロムナードコンサート開催40周年を記念し、ナイトプロムや市内大型イベントとタイアップした事業を開催。(3回開催予定のうち雨天による中止1回)
街かどコンサート	浜松市 ギャラリーモール ソラモ	1回	200	市内で活動する合唱団が出演する屋外コンサート。協力：浜松市合唱連盟
まちなかにぎわいコンサート	JR 浜松駅 北口広場キタラ 他	3回	1,000	市内音楽愛好家団体が公演をプロデュース。合唱・ジャズ等の多彩なジャンルの団体が出演する無料イベント。(5回開催予定のうち雨天による中止2回)
合計		4事業	9,600	

ウ ジュニアオーケストラ(JO)・ジュニアクワイア(JC)浜松運営事業

事業名	会場	開催日	入場者数(人)	内容
団員募集・定期練習	市内諸施設	通年 (週1回)	—	団員の募集・育成・公演をマネジメント。音楽を通じて、豊かな感性を備え、文化的視野を持った青少年の育成。 団員数はJO:102名、JC:48名。定期演奏会は30回を記念して合同で開催。
ジュニアオーケストラ浜松 ジュニアクワイア浜松 第30回記念定期演奏会	アクトシティ浜松 大ホール	9/15	1,232	
スプリングコンサート2025	アクトシティ浜松 大ホール	3/16	1,204	
その他演奏事業	はままつ フラワーパーク	4/28	—	浜名湖花博2024 依頼演奏 (JO JC)
	アクトシティ浜松 サンクンプラザ	5/4	—	アクトでやらまいか浜松まつり 依頼演奏 (JC)
	浜松市 ギャラリーモール ソラモ	8/15	—	プラタナスコンサート 出演 (JC)
	クリエート浜松	8/18	—	クリエート浜松夏まつり 依頼演奏 (JO)
	アクトシティ浜松 大ホール	9/28・ 29	—	第8回市民オペラ音詩劇「かぐや」出演 (JC 在団生・卒団生)
	浜松こども館	12/1	—	響け歌声!ジュニアクワイア浜松 依頼演奏 (JC)

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
その他演奏事業	浜松科学館	12/14	—	MATH やらまいか 決勝大会 依頼演奏 (JO)
	はままつ フラワーパーク	12/15	—	フラワーパーククリスマスコンサート 依頼演奏 (JO・JC)
	はままつ フラワーパーク	12/22	—	フラワーパーククリスマスコンサート 依頼演奏 (JO)
	オークラアクト シティホテル浜松	12/25	—	クリスマスロビーコンサート 依頼演奏 (JO・JC)
	クリエート浜松	1/25	—	クリエート浜松冬まつり 依頼演奏 (JO)
	浜松市楽器博物館	2/23	—	楽器博物館「音楽の広場」 依頼演奏 (JO)
合 計		4 事業	2,436	

エ 浜松吹奏楽大会 2025 事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
地域交流プログラム	市内中学5校	3/22～23	530	吹奏楽の普及とレベルの向上を目的とした 全国規模の事業。プロムナードコンサート は、6年振りの開催となった。
プロムナードコンサート	JR 浜松駅前広場 キタラ	3/22	—	
第13回全国中学生 交流コンサート	アクトシティ浜松 中ホール	3/22	626	
第37回全日本高等学校 選抜吹奏楽大会	アクトシティ浜松 大ホール	3/23	2,252	
合 計		4 事業	3,408	

オ 都市間交流事業

事業名	会場	開催日	派遣者数 (人)	内容
浜松市・札幌市 音楽文化都市交流事業 ハママツ ジュニアコーラス フェスティバル	アクトシティ浜松 中ホール 展示イベント ホール	9/15	967	本市が音楽文化都市交流協定を結んでいる 札幌市の札幌北の少年少女合唱団を招聘し、 市内の合唱団との交流コンサートを開催。
宝塚市との 音楽文化都市交流事業 ミュージカル 「白井鐵造物語～犬居の風」	宝塚市 ソリオホール	12/20～ 22	284	浜松市の市民団体が、両市の交流のきっかけ となった白井鐵造の生涯を演じたほか、兵庫 県立宝塚北高等学校演劇科と浜松市ダンス チームが交流会や共演などを行った。
合 計		2 事業	1,251	

カ こどものための音楽鑑賞教室事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
第24回こども音楽鑑賞教室 「こんにちはオーケストラ」 (全4回公演)	アクトシティ浜松 大ホール	2/19・20	7,444	市内の小学5年生全員を対象に、オーケストラの鑑賞機会を提供。 指揮：永峰大輔 演奏：富士山静岡交響楽団 観覧対象者：浜松市内小学5年生(児童6,538人、引率335人、一般571人)

キ 国際音楽交歓コンサート事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
国際音楽交歓コンサート 2024	市内特別支援学校 (6校)	10/15～17	751	海外から一流のクラシック演奏家を招聘し、日頃演奏会に出かけることが難しい市内の特別支援学校の生徒を対象に無料で出張コンサートを開催した。 共催：公益財団法人国際音楽交流協会

ク ランチタイムコンサート事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
出張 ランチタイムコンサート	神久呂小学校	11/27	250	演奏家が市内の学校を訪問し、昼休みの時間帯に、出入り自由で子どもたちが慣れ親しんでいる楽曲(アニメ・童謡など)を中心にミニコンサートを開催した。 ※「管楽器体験教室」同時開催
	中郡小学校	12/2	420	
	三ヶ日西小学校	12/12	200	
合計		3事業	870	

ケ 浜松市アクトシティ音楽院事業

事業名	会場	開催日	受講者数 等(人)	内容
アカデミーコース 世界レベルで活躍する演奏家の育成と世界に向けた音楽文化発信事業 (2事業)				
音楽院修了生公演事業	市内小中学校 ほか	10回	2,009	アクトシティ音楽院修了生に、市内外の音楽活動の場を提供する公演企画した。
第30回記念浜松国際 管楽器アカデミー& フェスティバル	アクトシティ浜松	8/5～10	1,631	国内外で活躍する演奏家を講師として迎え、管楽器奏者を育成する短期セミナー(11クラス)と、講師陣によるコンサートを開催した。

事業名	会場	開催日	受講者数等(人)	内容
コミュニティコース 市民が参加・体験できる講座の開催と人材育成事業 (9事業)				
ジャズクリニック				
ジャズ演奏セミナー	各受講校	10/5 12/23 1/12	185	守屋純子他を講師に迎え、市内の学校の練習会場に赴いてジャズの指導を実施した。
ジャズ文化講座	クリエート浜松	9/21 10/4	232	守屋純子他を講師に迎え、一般市民向けにはジャズ文化講座を開催した。
吹奏楽セミナー				
保科洋の吹奏楽 楽曲分析・解釈講座	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	4/7	45	保科洋音楽監督を講師に、フィルハーモニックウインズ浜松をモデルバンドとして吹奏楽課題曲講習会を開催した。
楽器パート別講座 (小学生)	サーラ音楽ホール	4/20 5/25 8/3	50 11 50	浜松ジュニアブラスを対象としたパート別講座と基礎合奏を学ぶ合奏講座他を開催した。
合奏講座(小学生)	サーラ音楽ホール	5/11 1/25	50 50	
吹奏楽指導研究講座	あいホール	6/2	38	吹奏楽指導者向けの小編成バンド指導法講座を開催した。 講師：伊藤康英 コーディネーター：土屋史人
浜松市所有ジャズ譜 貸出事業	—	通年	6件	金管バンド用、吹奏楽用等に編曲したジャズ譜を、市内アマチュア音楽団体を対象に無料貸し出した。
「交響組曲『ピーターパン』 (吹奏楽版)」 音源・楽譜貸出事業	—	通年	0件	教育文化奨励賞受賞、浜松ゆかりの芸術家・佐藤賢太郎が作曲した楽曲の音源・楽譜のアマチュア団体向け無料貸し出し事業。
主催者育成セミナー	アクトシティ浜松 研修交流センター	12回	受講者 10 入場者 186	演奏家と聴衆を繋ぐ役割としての音楽イベント主催者を育成。全12回のセミナーにより公演開催ノウハウを学習し、受講者による自主企画公演「バンドネオンが奏でる魅惑のタンゴ」を2月15日に開催した。
合唱セミナー	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	1/11	203	指揮者の伊東恵司を講師に迎え、合唱愛好者を対象にした実践的レッスンと市内学校や一般団体を対象としたワンポイントレッスンを開催した。受講：6団体
子ども音楽セミナー	浜松市立高校 クリエート浜松 他	10～1月	642	生涯学習音楽指導員が子どもたちに音楽指導をする講座。邦楽・吹奏楽(小・中学生)・洋楽教室の3クラス。最後の第4回目では保護者に向けた成果発表会を実施した。
バークリー音楽大学事業	かじまち ヤマハホール	3/9	88	大学側事情により中止となったオーディションの代替企画。同大学出身の曾根麻央を招聘し、サポートメンバー2名を加えてジャズ演奏と、ジャズや音楽大学に関するレクチャーを実施した。
音楽指導者派遣事業	市内 希望学校・団体	通年	受講者 43,003 (派遣件数 416件)	音楽院の音楽指導者登録者を市内の音楽活動団体へ派遣した。
合 計		11事業	48,483	

コ 浜松国際ピアノコンクール開催事業

(ア) 事業の実施状況

あ 応募者・参加者状況

種別	人数	国数
応募者	638 人	47 カ国 1 地域
出場承認者	94 人	25 カ国 1 地域
出場登録者	87 人	25 カ国 1 地域

い 予備審査の開催

日時 : 5月20日～5月26日

開場 : ヤマハ銀座コンサートサロン (東京)

内容 : 提出された映像に基づく第12回コンクール出場承認者の選考を実施

う コンクール期間中スケジュール、来場者数等

日程	内容	場所 (アクティシティ浜松)	来場者数(人)
11月4日	オープニングコンサート 出演 ピアノ：ジャン・チャクムル (第10回優勝) ピアノ：牛田智大 (第10回第2位) 指揮：高関健 オーケストラ：富士山静岡交響楽団	中ホール	835
11月6日～7日	出場者登録・ピアノ選び	21 会議室 中ホール	—
11月8日	出場順抽選会	41 会議室	—
11月9日～13日	第1次予選	中ホール	7,326
11月15日～17日	第2次予選	中ホール	4,678
11月19日～20日	第3次予選	中ホール	3,434
11月23日～24日	本選	大ホール	3,927
11月24日	表彰式	大ホール	1,300
11月25日	入賞者披露演奏会	大ホール	2,029
合 計			23,529

え 入賞者

賞	受賞者	国籍	生年
第1位 (同時受賞) 室内楽賞、聴衆賞、 札幌市長賞、ワルシャワ市長賞	鈴木愛美	日本	2002年
第2位	ヨナス・アウミラー	ドイツ	1998年
第3位	小林海都	日本	1995年
第4位	JJ ジュン・リ・ブイ	カナダ	2004年
第5位	コルクマズ・ジャン・サーラム	トルコ	1999年
第6位 (同時受賞) 日本人作品最優秀演奏賞	ロバート・ビリー	チェコ	1997年
奨励賞	ヴァレール・ビュルノン	ベルギー	1998年

お コンクール関連事業の開催

日程	内容	場所	来場者数(人)
6月17日	アクト・プレミアム・シリーズ2025 Vol.37 ダン・タイ・ソン (ピアノ)	アクトシティ浜松 中ホール	806
7月13日	アクト・プレミアム・シリーズ2025 Vol.38 アレクサンダー・ガジェヴ (ピアノ)	アクトシティ浜松 中ホール	629
8月18日 8月20日	小さなピアニストコンサート 出演：公募した5歳～中学生67人	プレ葉ウォーク浜北 イオンモール浜松市野	550
8月21日	安並貴史×アクロス弦楽四重奏団	アクトシティ浜松 中ホール	260
10月18日	ファンタジーとダンスの交差点 出演：石井克典 (ピアノ)	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	78
10月～11月	写真展「熱情への賞賛」	アクトシティ浜松 市民ロビー	—
11月 (会期中)	Touch & Try 市内3企業による電子ピアノ3台を市民ロビー に設置展示	アクトシティ浜松 市民ロビー	—
1月19日	東京タワー文化フェスティバル 出演：小林海都 (ピアノ)	東京タワー展望台 メインデッキ	—
合 計			2,323

か 市民参加

(あ) 市民ボランティア

名称	従事内容	参加数(人)
出場者アテンドスタッフ	出場者ケア、アテンド	43
ホールスタッフ	ホール来場者誘導、会場管理	44
審査委員アテンドスタッフ	タイムキーパー、審査委員ケア	13
合 計		100

- (い) ホームステイ 21 件成立
- (う) ホームコンサート 16 件、延べ 16 名出演
- (え) スクールコンサート 9 校、延べ 9 名出演
- (お) シティコンサート 3 会場、延べ 3 名出演
- (か) 生け花装飾 静岡県華道連盟西部会 9 派の協力により、会場を生け花で彩った。
- (き) 呈茶サービス 浜松茶道連盟の協力により、出場登録を終えた出場者を対象に呈茶サービスを行った。

き 優勝者ツアー等の実施

日程	内容	場所
2 月 23 日	ホールアドバイザー小川典子企画 第 12 回浜松国際ピアノコンクール優勝者 鈴木愛美を迎えて 主催：川崎市文化財団グループ	ミューザ川崎 シンフォニーホール
2 月 25 日～27 日	デビューCD レコーディング	アクトシティ浜松 中ホール

(イ) 記者発表の開催

日程	内容	場所
7 月 3 日	出場承認者、大会基調デザイン、開催イベント等に関する記者発表	浜松市役所 記者会見室
11 月 20 日	審査委員長及び本選出場者による記者会見	アクトシティ浜松 中ホール
11 月 24 日	審査委員長及び入賞者による記者会見	アクトシティ浜松 コンgresセンター

(ウ) 実行委員会の開催及び委員の委嘱

あ 第 3 回実行委員会

- 日 時 令和 6 年 6 月 18 日
- 場 所 アクトシティ浜松コンgresセンター22、23 会議室
- 議 題 令和 5 年度事業報告、第 12 回コンクール出場承認者の決定 他

い 第 4 回実行委員会

- 日 時 令和 6 年 10 月 2 日
- 場 所 浜松市役所 本館 5 階 庁議室
- 議 題 第 12 回コンクール進捗状況報告、令和 7 年度収支予算案 他

(エ) 国際音楽コンクール世界連盟総会の出席

- 日 時 令和 6 年 6 月 5 日～7 日
- 場 所 パルマ市 (イタリア)
- 出席者 小川 典子 (審査委員長)

(オ) アーリンク・アルゲリッチ財団との提携

- ・イヤブックへの広告掲載
- ・コンクール情報の提供

(5) 芸術文化活動の促進と地域社会活性化の拠点となる施設の整備、貸与及び運営

ア アクトシティ浜松

運営総括

アクトシティ浜松では、コロナ禍前と比較して大型コンベンションの開催形式が多様化したことを受け、令和6年度においても、きめ細やかな施設サービスの提供に取り組みました。

また、今後5年間にわたる施設改修及び休館計画をふまえ、アクトタワーの民間事業者や地元関係者との調整を進めるとともに、令和7年度から休館となる研修交流センターを含むアクトシティの既存利用者に向けて、改修計画の周知や休館中の代替施設の紹介等に努めました。

なお、令和6年度はアクトシティ浜松開館30周年であったことから、タワー事業者とともに周年事業も企画しました。

- ・施設利用者や大会主催者の個別要望に対応する「サポートサービス」では、経験豊富な専任担当者を配置し、地元食材を使用した弁当メニューの拡充、リモート配信対応の機材配備、ゴミ回収など、多様なサービスの提供に取り組みました。また、ホームページを活用した同サービス周知にも力を入れ、施設の利用促進を図りました。
- ・アクトシティ30周年事業では、アクトシティ活性化委員会やオークラクトシティホテル浜松等とともに、スタンプラリー企画や記念ロゴの制作・共同利用など、官民一体となった協働企画を展開しました。

(7) アクトシティ活性化事業

事業名	会場	開催日	参加者数(人)	内容
アクトでやらまいか 浜松まつり	サンクンプラザ	5/3～5	39,000	浜松まつり期間中、屋外広場のサンクンプラザにて吹奏楽やダンス等のステージイベントを開催したほか、縁日や飲食などの屋台の出店も行った。
アクトシティ浜松開館 30周年記念 アクトシティスタンプラリー	アクトシティ浜松 他	8/1～25	453	開館30周年を記念して、アクトシティ浜松に立ち寄ってもらうため、スタンプラリーを企画。スタンプを集めた参加者には、オリジナルグッズをプレゼントした。
アクトシティ大冒険!	大ホール アクトタワー 他	8/7	80	親子でアクトシティ浜松の大ホールやホテルの裏側、ヘリポート、タワー制振装置など、普段見ることのできない場所を中心に大冒険するバックステージツアーを開催。
SHOKO TAKAHASHI Christmas exhibition 「Street」	市民ロビー、 アクトタワー	11/29～ 12/25	40,323	クリスマスの機運を盛り上げ来館者の回遊を図るため、浜松ゆかりの若手アーティストに依頼し、市民ロビーやアクトタワーなどにアートを活用した装飾を実施。
合計		4事業	79,856	

(イ) コンベンション等実施状況

(掲載要件) 県単位以上の大会・コンベンション等/ハイブリッド開催の場合は現地参加者数300人以上/財団事業は除外

利用日	大会名称	利用施設	参加者数 (人)
5/27～31	2024年度人工知能学会全国大会(第38回)*	大ホール、中ホール 展示イベントホール コンgresセンター 研修交流センター	8,550
6/7～9	第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会*	大ホール、中ホール 展示イベントホール コンgresセンター 研修交流センター	9,300
6/13～15	第80回日本弱視斜視学会総会・ 第49回日本小児眼科学会総会 合同学会	大ホール コンgresセンター	2,160
6/19～21	第48回日本頭頸部癌学会	中ホール コンgresセンター	2,200
6/28～29	第163回日本循環器学会東海地方会	コンgresセンター	358
7/12～14	JCR ミッドサマーセミナー2024	コンgresセンター	1,230
7/14～19	第17回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2024	展示イベントホール 研修交流センター	3,248
7/25～30	第28回PIARA ピアノコンクールファイナル	中ホール	1,660
8/11～19	第21回ハンドベル世界大会*	中ホール 展示イベントホール コンgresセンター 研修交流センター	8,084
8/31～9/1	第46回日本母体胎児医学会学術集会*	コンgresセンター	71 ※
9/2～6	International Symposium on Plasmid Biology 2024*	コンgresセンター	839
9/13～16	日本教育心理学会第66回総会	コンgresセンター	2,330
10/5～6	一般社団法人日本内科学会 第254回東海地方会*	コンgresセンター	551
11/2～3	第24回中部臨床工学会	コンgresセンター	800
11/29～12/2	第39回日本臨床リウマチ学会*	大ホール、中ホール コンgresセンター 研修交流センター	2,673
12/3～4	第9回生体医歯工学共同研究拠点国際シンポジウム	コンgresセンター	450
12/5～6	日本プロセス化学会2024 ウィンターシンポジウム	中ホール コンgresセンター	420
2/4～3/18	令和6年分確定申告相談会場 令和7年度市民税・県民税申告相談会場	展示イベントホール	14,952
合 計		18件	59,876

*印 現地対面とWeb配信のハイブリッド方式で開催 ※500人規模大会(台風10号に伴う交通機関の乱れにより実参加者数減)

(ウ) 施設稼働率等

あ ホール及び会議室

()内は前年度実績

		利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
大ホール		78.5% (81.0%)	303 (295)	238 (239)	246,683 (229,113)
中ホール		80.3% (76.8%)	309 (306)	248 (235)	106,723 (100,840)
展示イベントホール		67.3% (64.4%)	333 (334)	224 (215)	97,319 (123,469)
コンgresセンター 会議室 (13室)		69.3% (71.3%)	4,448 (4,481)	3,082 (3,197)	72,356 (81,887)
研修交流 センター	音楽工房ホール	69.1% (63.5%)	337 (337)	233 (214)	20,999 (17,036)
	音楽セミナー室 (13室)	55.4% (56.5%)	4,482 (4,486)	2,484 (2,533)	8,543 (8,562)
	会議室 (10室)	77.0% (77.3%)	3,444 (3,456)	2,651 (2,671)	53,045 (53,933)
合 計					605,668 (614,840)

い 駐車場

()内は前年度実績

	駐車台数 (台)	1日あたり駐車台数 (台)
駐車場	319,804 (320,931)	876 (876)

(エ) 利用料金収入

収入区分		当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設 利用	大ホール	162,802,122	152,439,640	10,362,482
	中ホール	84,654,909	72,706,283	11,948,626
	展示イベントホール	96,707,187	100,364,748	△3,657,561
	コンgresセンター	162,118,917	169,978,820	△7,859,903
	研修交流センター	75,599,735	72,066,902	3,532,833
	地下駐車場	125,066,046	123,183,990	1,882,056
	屋外施設 (サンクンほか)	252,100	202,680	49,420
合 計		707,201,016	690,943,063	16,257,953

イ クリエート浜松

運営総括

クリエイート浜松は、ホールやギャラリーなどの多様な機能を有した施設であり、音楽、ダンス、絵画、工作など、多彩な芸術文化活動を日常的に行うことができる場所として市民に利用されています。

近年の施設運営における課題として、利用団体の会員の高齢化に伴う活動の縮小や稼働率の低下が挙げられます。そのため、若い世代やクリエイートに馴染みの薄かった層が施設を利用し、創造活動や地域交流を促進できる事業に取り組みました。

- ・ハマツククリエイターズフェス事業では、浜松にゆかりのある若手クリエイター、市内の芸術科専攻の高校生、地元企業の三者が協働制作を行う場を設け、世代間・異業種間の交流機会を創出しました。
- ・新規事業「クリエイート・マルシェ」では、地域商店街に参画を呼びかけ、地元の活性化と地域産業の認知拡大を図るとともに、普段クリエイートを訪れる機会が少ない層に対して、来館のきっかけを創出しました。
- ・施設の利便性向上と利用者定着の促進のため、利用者のニーズを日常的に把握し、対応可能なものについては迅速に改善を図りました。(例：スポットライトのLED化、ギャラリーBGM用CD貸出など)

これらの取り組みを通じて、令和7年度においても、誰もが芸術と創造を楽しみ、地域とつながる場として、より多くの人にとって魅力的な施設となることを目指します。

(ア) 施設付帯事業の実施

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
指定事業（市民文化の振興に資する事業 3事業）			
ハマツククリエイターズフェス Vol.1 みんなのまど	7/19～21	1,725	浜松ゆかりの若手クリエイターによる作品展示やワークショップ、公開制作などを教育団体や地元企業とも連携して開催。（自主事業「クリエイート・マルシェ」同時開催）
浜松市民文化フェスティバル 「絵・写・書・茶・花」展	8/23～25	2,400	3階のギャラリーにおいて、地元の文化団体が絵画、写真、書道、お茶、生け花などの多彩な文化を披露。また、作品をわかりやすく解説する「アートコミュニケーション」を行うことで、文化団体と来館者の交流の場を創出した。
夏休み親子教室	7/27	12	アトリエを使用して、親子で参加できるワークショップを開催し、写真立てを製作した。
指定事業（コミュニティ活動の活性化と社会課題の解決に資する事業 4事業）			
クリエイートの夏まつり	8/18	2,300	地域住民や関係機関と連携し、地域及び施設の活性化を目的に開催。文化イベントや物販などを実施したほか、社会課題における啓発事業の紹介も行った。 共催：市中部協働センター、市人権啓発センター、(公財)浜松国際交流協会
ふれあい広場活性化事業 Creative Gala (クリエイティブ・ガラ)	42回	215	地域の文化活動活性化のため、ふれあい広場を無料提供する事業。ミニコンサート形式や公開練習など多岐にわたる利用があった。

事業名	開催日 回数	参加者数 (人)	内容
クリエートの冬まつり	1/25～26	6,970	日ごろより当館を利用する地域活動団体の成果発表・作品展示の場を提供。併せて物販なども行った。 共催：市中部協働センター
第15回はままつグローバルフェア	2/9	4,203	フェアトレードショップや国際交流ブースを設けたイベントを実施。着物などの日本文化にも触れられる場も創出した。 共催：はままつ国際理解教育ネット、 (公財)浜松国際交流協会
指定事業（その他の事業 4事業）			
クリエート／文芸館コラボ事業	通年	-	文芸館の広報PR促進事業。（文芸館展覧会屋外ラッピング制作、館内ガチャ俳句企画、1階ロビーの文芸館ミニギャラリーブース展示等）
文化情報発信事業	通年	-	当施設利用の同好会文化団体への取材と情報発信を実施した。
文化情報サロン運営	通年	-	財団事業の紹介及び文化団体情報の収集と提供を行う。ポスターやチラシを掲示できるエリアも整備した。
活動情報の収集・データベース化事業	通年	-	市民アーティストの活動をデータベース化し、活動者同士の連携を構築した。
自主事業（4事業）			
クリハマ楽校	26回	89	参加者自らが興味関心のある講座を企画開催する事業。参加者同士のコミュニケーションの場を創出した。
第27回リフレッシュ理科教室	6/22	53	静岡大学教授のレクチャーによる理科実験工作。 共催：(公社)応用物理学会
クリエート・マルシェ	9/8、12/8、 3/8	1,230	令和6年度新規事業。クリエート近隣の商店と連携して出店者を募り、来館者に地域の商店と産業を知ってもらう機会を提供するとともにクリエートのにぎわいを創出した。
インターンシップ実習受入	8/18・25	2	大学生インターンシップ受け入れ。
合計	15事業	19,199	

(イ) 施設稼働率等

()内は前年度実績

		利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
中部協働センター	講座室 (2室)	64.2% (66.9%)	692 (704)	444 (471)	10,241 (10,625)
	キッチン ルーム	50.6% (44.3%)	342 (352)	173 (156)	3,105 (2,242)
	会議室 (3室)	74.5% (74.6%)	1,038 (1,056)	773 (788)	16,955 (15,769)
	和室 (2室)	50.7% (44.5%)	692 (704)	351 (313)	4,825 (4,514)
文化コミュニティ センター	ホール	83.2% (81.4%)	346 (345)	288 (281)	41,935 (38,920)
	会議室 (2室)	56.9% (54.4%)	692 (704)	394 (383)	7,720 (6,536)
	スタジオ	90.2% (85.0%)	346 (352)	312 (299)	9,553 (9,194)
	ふれあい広場	98.0% (98.0%)	346 (352)	339 (345)	27,923 (24,655)
	アトリエ	82.7% (72.7%)	346 (352)	286 (256)	3,549 (4,168)
	ギャラリー (5室)	78.1% (79.2%)	1,718 (1,749)	1,342 (1,386)	135,362 (159,571)
	創造活動室	100.0% (99.7%)	346 (352)	346 (351)	12,209 (12,282)
合 計					273,377 (288,476)

(ウ) 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設利用	50,875,700	51,184,980	△309,280

ウ 浜松市浜北文化センター

運営総括

浜北文化センターは、令和6年4月から令和7年6月まで改修工事に伴い、休館中です。

令和6年度においては、施設の休館が市民の文化活動を停滞させることのないよう、様々な取り組みを実施するとともに、リニューアルオープンを見据えた広報活動にも注力しました。

また、工事の円滑な進行を支援するため、施設管理者としての知識と経験を活かし、工事関係業者、浜松市、地域住民への情報提供及び調整業務に努めました。

- ・毎年度恒例の事業である「はまきたまると文化フェス」については、令和6年度は近隣施設を活用し、地域の文化団体や学校が活動成果を継続して発表できる場としました。また、既存利用者に対し、休館期間中の代替施設を紹介し、休館の影響が最小限となるよう努めました。
- ・新規利用者の獲得及びリニューアル後の施設の認知度向上を図るため、多面的な広報活動を展開しました。各種団体への訪問プレゼンテーションやイベント時の利用相談ブース設置のほか、大型公演興行主を含む既存利用者へのダイレクトメールの送付、公式ウェブサイトでの情報提供、SNS 公式アカウントからの発信などを実施しました。

(7) 施設付帯事業の実施

事業名	開催日	参加者(人)	内容
指定事業 (1事業)			
はまきたまると文化フェス in なゆた・浜北	1/30~2/1	374	なゆた・浜北との協働事業。浜北文化センターが休館中のため、会場をなゆた・浜北へ移して、地域文化団体や学校の文化活動発表の場とした。
自主事業 (4事業)			
新規利用者獲得事業	通年	-	施設リニューアルオープンに向け、利用見込みの団体等に浜北文化センターの利用を呼びかけた。
大型公演招致事業	通年	-	リニューアル後の当館での舞台やミュージカル等の大型公演開催に向けて、興行主催者に対し施設利用を促した。
リニューアル情報発信事業	通年	-	施設のリニューアルに関する情報をダイレクトメールやチラシ、公式サイト、SNS 等各種媒体により発信した。
文化団体支援事業	通年	-	地域の文化団体から活動状況をヒアリングするとともに SNS 等で活動を紹介した。
合計	5事業	374	

(i) 施設付稼働率等

改修工事のため施設利用なし

(ii) 利用料金収入

改修工事のため施設利用なし

エ 浜松市なゆた・浜北（株式会社なゆた浜北との共同運営）

運営総括

浜松市なゆた・浜北は、浜北文化センター及び市民ミュージアム浜北との3館一括指定管理です。当財団と株式会社なゆた浜北の共同事業体による運営を行っています。

令和6年度は浜北文化センターが改修休館となりましたが、共同事業体の強みを活かし、なゆた・浜北が同センターを施設貸館及び事業開催の両面から補完しました。その結果、施設利用料金収入は、当初予算額を上回る成果となりました。

- ・例年、浜北文化センターで開催していた「はまきたまるごと文化フェス」事業については、令和6年度は、なゆた・浜北を主会場として実施し、同センター休館中も、地域の文化活動の停滞が発生しないよう努めました。
- ・「なゆた駅前広場活用事業」をはじめ、駅前を会場とした企画を多数開催しました。地域団体や地元生産者の参加を募り、地域の活性化とにぎわい創出を図りました。
- ・有料主催公演を対象とした「おかえり切符」サービスを実施しました。来館者の満足度向上に加え、地域滞留時間の延長拡大、施設認知度の向上、CO₂の排出削減に寄与しました。
- ・これまで「3区分制」だったホール及び控室の貸出区分について浜松市に申入れを行い、令和6年12月より「1時間単位」の貸出も可能となるように変更しました。また、浜北文化センター休館の代替施設としての利用促進に努めた結果、施設利用料金収入は前年比21.6%増となりました。

なお、令和6年度末をもって、浜北3館の一括指定管理契約が終了します。令和7年度からなゆた・浜北については、株式会社なゆた浜北による単独管理となりますが、今後も同社と協力し、地域の文化振興と活性化に取り組みます。

(7) 施設付帯事業の実施

事業名	開催日	参加者(人)	内容
自主事業 (9事業)			
はまきたまるごと文化フェス in なゆた・浜北	1/18・19、 1/30～2/1	699	浜北文化センターとの協働事業。なゆた・浜北や浜北文化センター施設利用者へ感謝の気持ちを込めて発表の場を提供するイベント。令和6年度はなゆた・浜北をメイン会場とし、浜北文化センター休館中も地域の文化活動の持続を支援した。
なゆた・映画まつり	5/25、11/23	462	ファミリーからシニアまで幅広く名画を楽しむ機会を提供。映画館から遠ざかっている方もリピーターの方も気軽に楽しめる映画祭とした。
なゆたホールで グランドピアノを弾いてみよう！	8/13～16	101	ホールの舞台でグランドピアノ「SHIGERU KAWAI」のほか持込みの楽器演奏を体験する機会を提供した。
なゆた・ジャズフェスティバル	2/23	314	気軽にジャズを楽しめるイベントとして、浜松ジャズ協会の協力により開催した。
親子で作るクラフト講座	5/11、6/15、 11/30	43	母の日、父の日、クリスマスの時期に使える小物を小学生の子と親で作るクラフト講座を開催した。

事業名	開催日	参加者 (人)	内 容
なゆた・浜北イルミネーション	11/2～2/9	-	駅前広場の恒例イルミネーション。予定していた点灯式は雨天につき中止したものの、期間中多くの方が鑑賞に訪れた。
なゆた・浜北朝市	31回	-	駅前広場で地元産の野菜や果物、スイーツなどを販売する恒例の朝市。まちのにぎわいを創出した。
なゆた駅前広場等活用事業	8/24、 11/9・30、 12/14、 1/18・19、 2/22	-	なゆた駅前広場等を活用し、飲食販売、音楽ライブのほか能登半島地震被災者支援フリーマーケット等の開催を支援し、駅前広場のにぎわい創出に努めた。
遠鉄電車お帰り切符	通年	-	なゆた主催有料公演である映画まつり及びジャズフェスティバルの来場者を対象に、復路の遠鉄電車1乗車分の切符を配布することで来館促進を図った。
合 計	9事業	1,619	

(イ) 施設付稼働率等 ()内は前年度実績

	利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
なゆたホール	70.2% (57.7%)	325 (307)	228 (177)	37,518 (24,964)
第1控室	37.2% (30.9%)	328 (307)	122 (95)	1,596 (989)
第2控室	39.9% (30.0%)	328 (307)	131 (92)	1,670 (1,013)
第1練習室	100.0% (100.0%)	347 (348)	347 (348)	5,188 (3,185)
第2練習室	100.0% (99.4%)	347 (348)	347 (346)	6,888 (4,044)
第3練習室	99.7% (96.0%)	347 (348)	346 (334)	7,753 (4,364)
合 計				60,613 (38,559)

(ウ) 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設利用	14,780,990	12,117,080	2,663,910

運営総括

浜松市天竜壬生ホールは、中山間・北遠地域の文化振興の中軸を担う施設です。令和6年度においても、多彩な文化公演や講座を開催するとともに、児童育成や地域活性化に資する各種事業を実施しました。

また、施設利用料金収入は、コロナ前の令和元年度値を超えました。その要因として、利用者の回帰に加え、ホール利用体験企画や SNS 等を活用した施設広報の効果が表れ始めていると考えられます。今後も地域住民の文化活動支援と施設利用率向上に努めていきます。

- ・天竜壬生ホールの柱事業である「MIBU ワークショップ」では、小学校1年生から中学校3年生までの子どもたち約130名超を対象に、通年ワークショップを開催しました。また、定例発表会に加え、他区イベントへの出演機会も設け、次代の文化の担い手育成に努めました。
- ・地域の学校や文化団体と連携した「MIBU 吹奏楽フェスティバル」「みぶ遠州の和太鼓」「みぶ絵手紙展」では、市民の文化活動の発表機会の創出と地域交流の促進を図りました。
- ・「壬生の響き」公演では、特別編として富士山静岡交響楽団メンバーを初招聘しました。また、恒例の「天竜マルシェ」を同時開催し、文化振興と地域活性化の双方に取り組みました。
- ・アウトリーチ事業「浜松市天竜区ふれあいコンサート」では、地域の学校に一流の演奏家を派遣し、遠出が困難な方にも音楽鑑賞の機会を提供しました。

(ア) 施設付帯事業の実施

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
指定事業 (文化振興事業 2事業)			
壬生の響き 特別編 弦楽カルテットの魅力	8/10	276	富士山静岡交響楽団団員による弦楽カルテットのコンサート。地元の名店7店舗が販売を行う「天竜マルシェ」も同時開催。
MIBU New Year Concert 2025	1/19	259	トランペット奏者・白水大介を招いて、地元の楽団「天竜楽友吹奏楽団」とのコンサート。地元の名店が販売を行う「天竜マルシェ」も同時開催。
指定事業 (芸術普及事業 7事業)			
MIBU ワークショップ ダンスクラス	46回	2,252	専門講師による、小学生から中学生までを対象としたダンス及びミュージカルの通年指導。事業を通じて、芸術・文化活動による地域児童の育成促進と地域文化の振興を図っている。在籍人数は、ダンス90名、ミュージカル41名。(ダンスクラスのうち66名が5/5の「アクトでやらまいか浜松まつり」に出演。)
MIBU ワークショップ ミュージカルクラス	26回	865	
みぶアーティストステージ	7/14	216	児童から大人まで出演者を公募し、ホールでステージパフォーマンスを披露。11組が出演。
MIBU 吹奏楽フェスティバル	11/3	291	天竜浜名湖鉄道沿線地域の高校吹奏楽部8校による合同演奏会。出演校による学校PRブースも同時開催。
MIBU ワークショップ発表公演 Vol. 22			
ミュージカル公演	12/14	233	MIBU ワークショップ受講生による年に一度の成果発表会。ミュージカル公演：「かっぱの総理大臣」。
ダンス公演	12/15	467	MIBU ワークショップ受講生による年に一度の成果発表会。ダンス公演：学年ステージ「Ritmo de locos」他。合同ステージ「Alice in dreamland」の2部構成。

事業名		開催日回数	参加者数(人)	内容
みぶ遠州の和太鼓 2025		2/16	315	静岡県西部で活動する10団体による和太鼓の競演。
みぶ絵手紙展		3/4~13	1,100	浜松市内4つの絵手紙教室による作品展。展示ギャラリー2階にて開催。絵手紙無料体験教室も開催。
自主事業 (5事業)				
ステージ演奏体験		5/26 8/16~18 9/29 2/8	18 64 25 23	ホールステージを一般開放し演奏体験の機会を提供。非公開のため、持ち時間を練習・撮影など自由に活用できる。ホール空き日を活用。
浜松文芸館出張講座 「おくのほろ道 その出会いと別れ」 第二期、第三期		4~9月 第4木曜 10~3月 第2木曜	244	浜松文芸館の人気講師による月1回の出張講座。受講希望者が多く、シリーズ化して継続している事業。 講師：勝田 敏勝
育てよう！アマゴの里親募集				
托卵講座		11/24	217	魚の卵を孵化させ稚魚にすることを各家庭で体験してもらう企画。育った稚魚は二俣川へ放流。 協力：天竜川漁業協同組合、川や湖をきれいにする市民会議
稚魚放流会		2/9	224	
チケット受託販売		通年	-	壬生ホール利用者の開催公演のチケット受託販売。
魅力発信事業		通年	-	施設や地域の魅力や情報をInstagram等のSNSを使って発信。
自主事業 (共催事業 1事業)				
浜松市天竜区ふれあいコンサート (天竜区二俣小学校)		9/29	130	一流演奏家による出張クラシックコンサート。 出演：鈴木 裕子 (二胡)、欒 溯 (ピアノ) 共催：浜松市天竜区ふれあいコンサート実行委員会
協力事業 (2事業)				
天竜芸術祭芸能発表会		10/27	559	天竜区内で活動する文化団体が実施する芸術祭の舞台運営を支援。 主催：天竜芸術祭芸能発表会実行委員会
第6回浜松地域中高生のための 管打楽器ソロコンテスト		12/26、27	449	中学校・高校に在籍している学生で応募があった出場者による、管打楽器全般のソロコンテスト。 主催：NPO法人浜松生涯学習音楽協議会
その他の事業 (1事業)				
職場体験受入		7/8、9	2	浜松市内の高校生の就業体験受け入れ。
合計		18事業	8,229	

(イ) 施設稼働率等

() 内は前年度実績

	利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
ホール	67.6% (63.0%)	278 (319)	188 (201)	28,720 (30,692)
リハーサル室	98.8% (99.7%)	340 (348)	336 (347)	13,460 (12,189)
会議室 (2室)	78.3% (69.7%)	336 (346)	263 (241)	12,027 (11,920)
展示ギャラリー1・2	16.8% (18.5%)	674 (692)	113 (128)	15,629 (18,750)
その他 (楽屋、音楽練習室、ホワイエ、 ホール舞台、野外ステージ)				4,237 (4,262)
合 計				74,073 (77,813)

(ウ) 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設利用	9,284,330	9,029,040	255,290

カ 浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）

運営総括

市民音楽ホールでは、次世代の音楽文化の担い手となる人材育成と市民の音楽文化活動の促進を運営の基本方針とし、令和6年度においても地域や市民文化団体と連携し、多様な事業を展開しました。

- ・次世代人材育成事業では、開館初年度に発足した小学生対象の「浜松ジュニアプラス」に加え、令和6年度からは、「浜松中学校吹奏楽団」及び「浜松ユース吹奏楽団（中高生合同）」を新設し、吹奏楽を通じた部活動の地域移行に向けた環境整備を支援しました。
- ・市民の音楽文化活動促進事業においては、市民の主体的アイデアを形にする「アイディア・チャレンジ事業」や、幼児・高齢者・障がいのある方を含めた誰もが楽しめる「マジックハートコンサート」を、地域の演奏家や音楽団体、NPO法人等と協働で開催しました。
- ・施設の活性化を目的とした「ミュージックフェスティバル」では、地域住民や学校、地元商店との協働により、演奏会や文化活動発表、地元産品マルシェを開催し、地域に開かれた施設運営を推進しました。
- ・ネーミングライツパートナーであるサーラコーポレーションや都田地域周辺の企業と連携し、助成公演の実施や企業社会科見学の企画などを通じて、地域企業の社会貢献活動の支援にも取り組みました。

(7) 施設付帯事業の実施

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
指定事業（次世代の音楽文化の担い手となる人材の育成 7事業）			
浜松ジュニアプラス育成事業 [小学生]	21回	-	小学生有志による合同吹奏楽バンド育成事業。生涯学習活動として、次世代の育成に市民が関わる学びと教への循環を実践する。団員50名。9/22吹奏楽トップコンサートに出演。 共催：NPO法人浜松生涯学習音楽協議会
浜松中学生吹奏楽団育成事業 [中学生]	9回	-	市内中学生による合同吹奏楽バンドの育成を通じて初等教育から次のステップである発展的な育成まで橋渡しの機能を担う。団員245名。9月22日吹奏楽トップコンサートに出演。 共催：浜松市吹奏楽連盟、NPO法人浜松生涯学習音楽協議会
浜松ユース吹奏楽団育成事業 [中高生]	14回	-	市民音楽ホール開館に合わせて結成された市内の中学から高校世代の吹奏楽バンド育成事業。団員90名。9月22日吹奏楽トップコンサートに出演。 共催：浜松市吹奏楽連盟、NPO法人浜松生涯学習音楽協議会
浜松中学生吹奏楽団 パレットコンサート	7/6	1,100	令和6年度新設のサーラ音楽ホールを活動拠点とした浜松中学生吹奏楽団。グリーン・イエロー・ブルー・レッドの各色バンドによる演奏と、浜松中学生吹奏楽団の指導者達のスペシャルバンド『ディレクターズバンド浜松』による合同合奏を実施。
ゆるやかワークショップ事業 「はじめてのテーマパークダンス」	7/25	48	気軽に来館して様々な芸術文化を体験する場として、乳幼児と保護者がホールを知る最初の一歩となるイベントとして開催。
浜松ユース吹奏楽団 第3回定期演奏会	1/5	800	浜松ユース吹奏楽団の練習成果として、発表会を実施。会場：ホール

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
浜松ジュニアプラス 第4回定期演奏会	3/2	500	練習の成果を披露する演奏会を開催。ゲストに浜松ユース吹奏楽団部を招聘して、関係者のみならず地元住民を中心に集客を行い、本格的なコンサート形式で開催。
指定事業 (市民の音楽文化活動の促進 8事業)			
ユニバーサル事業 「マジックハートコンサート」	6回	632	多目的室、ホールを利用し障がいのある人や、子育て世代を主な対象としたコンサートを開催した。 共催：認定NPO法人魅惑的倶楽部
アイデア・チャレンジ事業 「リモート鑑賞教室」	11/19	29	文化団体が発案した企画をホール主催事業として協働開催する市民提案型のホール活性化事業。 令和6年度は、ホールの映像配信設備を活用し、地域学校とサーラ音楽ホールをリモート中継した音楽鑑賞教室を開催。演奏家の学校派遣や第12回浜松国際ピアノコンクール出場者特別ゲスト出演も実施。 発案企画：アンサンプル・ミュージック リモート会場：ホール・上阿多古小学校
マジックハート・ クリスマスコンサート	12/15	300	「マジックハートコンサート」の規模を拡大し、ホールを利用した障がいのある人や子育て世代を主な対象としたコンサートを実施。誰もが楽しめるコンサートとして開催。 共催：認定NPO法人魅惑的倶楽部
サポーターズクラブ	通年	-	当館を拠点に活動する文化団体及び個人(140名以上)を人材データベースに登録してバンク化し、市域のアウトリーチ等に活用。
情報発信掲示板 コミュニケーションスクエア	通年	-	市内の文化団体や個人が活動を自由に発信できるよう、館内掲示スペースの活用及びホームページの整備を行った。
エントランスロビー活用事業	通年	-	エントランスロビーに市内芸術団体の作品を展示。
サーラ音楽ホール運営委員会	3/10		施設利用者、教育団体、地域自治会等、施設の関係団体代表者によるホール事業や施設運営改善を目的とした会合を開催。
常葉大学連携事業	2回	64	近隣大学である常葉大学との連携事業。教員とゼミ生が企画参画し、「なるこ」をつかって音楽・英語・健康づくりを同時に楽しむ事業を開催した。
自主事業 (2事業)			
サーラ音楽ホール 「ミュージックフェスティバル」 (企業協賛・地域連携事業)	11/3	2,000	地域住民や企業と連携し、地域及び施設の活性化を目的とした文化活動の発表や地元産品の物販などを実施。多目的室では、新都田自治会連合会による「アート展示」を同時開催。
次世代育成音楽事業 新しい音楽のちから	12/1	1,500	ジュニア世代(小学生・中学生)を中心にユース世代を巻き込んだジャンルレスな音楽交流会を開催。吹奏楽、邦楽、お囃子、合唱団体が参加し、各ジャンル指導者たちの意見交換会も行った。地元企業から協賛をいただいた。

事業名	開催日 回数	参加者数 (人)	内 容
特別協力事業 (1 事業)			
バンドスピリット 2024 サーラ杯	5/26	1,253	浜松市吹奏楽連盟主催のコンクール。企画段階から関わり特別協力事業として開催。中学9校、高校7校が参加し、吹奏楽指導者同士の交流も行った。
その他事業 (2 事業)			
浜松市小学校音楽科研究発表会 校外学習マッチング	11/19	50	リモート鑑賞教室参加校の校外学習として、「都田アソシエイツ」に加盟する企業とのマッチングをし、工場見学等を実施した。 会場：テイボー株式会社
ネーミングライツ企業との連携	通年	-	サーラグループが助成するホール活用助成制度の周知及びサーラグループ特別協力事業を開催。 事業：バンドスピリット等
合 計	20 事業	8,276	

(イ) 施設稼働率等

() 内は前年度実績

	利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
ホール	65.1% (64.6%)	321 (322)	209 (208)	78,256 (72,069)
多目的室 1	95.5% (86.9%)	337 (336)	322 (292)	17,842 (14,247)
多目的室 2	90.1% (79.8%)	332 (336)	299 (268)	16,401 (13,875)
多目的室 3	75.7% (64.5%)	334 (338)	253 (218)	9,675 (7,760)
合 計				122,174 (107,951)

(6) 観覧施設を活用した資源の調査、収集、保存、展示による芸術文化の普及発展

ア 浜松市楽器博物館

運営総括

令和6年度は、第12回浜松国際ピアノコンクールに合わせた「ピアノ」をテーマとした特別展をはじめ、浜松とゆかりの深いラップやラテンアメリカに着目した企画展を開催しました。

これらの展示に連動し、レクチャーコンサートや講座、ワークショップなどの関連イベントも実施しました。加えて、世界各地の音楽伝統を取り上げる演奏会や、地域音楽家によるミニコンサートを館内で企画し、多様な楽器や音楽文化の鑑賞・体験・発信に取り組みました。

また、近年増加傾向にあるインバウンド観光客への対応として、ホームページの多言語対応に加え、令和6年度よりイヤホンガイドによる英語プログラムの配信および英文解説テキストの配布を開始しました。

その結果、令和6年度の入館者数は86,245人となり、新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年度を上回る水準となりました。

・特別展「フォルテピアノの芸術」

19世紀ウィーンにおけるピアノに焦点を当て、作曲家や演奏家の要望に対して製作者がどのように応えていたのかを、楽器の機構・素材・技術の観点から紹介しました。

・企画展「海をわたった楽器たち～多彩な文化の地ラテンアメリカの旅～」

中南米の楽器を紹介し、歴史的背景や社会・風土・文化への理解を促しました。会期中は、浜松市在住のブラジルやペルー出身の方々の来館を想定し、ポルトガル語・スペイン語による資料も配布しました。

・所蔵楽器の整備および調査

世界有数のバンジョーコレクションとされる約700本の所蔵バンジョーについて、専門家立ち会いのもと、写真撮影および分析作業を実施しました。

(ア) 施設付帯事業の実施

事業名	開催日	参加者数(人)	内容
特別展・企画展・常設展・ミニ展示 (9事業)			
企画展 「響き渡る 日本にやってきたラップ」	4/1～5/7	※10,478	西洋由来の楽器であるラップが、いつ日本に入りどのような広がりを見せていったのか、黒船来航などの史実とともに紹介した。浜松まつりのラップも紹介。
特別展 「フォルテピアノの芸術 ～音楽の都 ウィーンの19世紀」	7/13～12/10	※41,301	ベートーヴェンやシューベルトが活躍した19世紀ウィーンのピアノとその製作者に焦点をあて、優れた音色を生み出すための工夫や技術を紹介した。
企画展 「海をわたった楽器たち～多彩な文化の地ラテンアメリカの旅」	1/11～ (～5/13)	※19,093	ラテンアメリカの楽器をとりあげ、その特徴に注目しながら、海を渡った音楽文化の変遷を探った。ポルトガル語・スペイン語の資料も配布。
常設展の運営・整備	通年	-	楽器展示室、体験ルームの管理運営及び展示替え。
ミニ展示			
どうする楽器素材の危機と保全 ～鶴殿のヨシ原から～	4/1～4/30 5/25～3/31	※79,335	絶滅の危機に瀕している葦の産地の現状と取り組みを解説。

事業名		開催日	参加者数 (人)	内容
	古今東西のユーフォニアム	4/1～4/7	※1,617	ユーフォニアムの祖であるオイフォニオンから180年の変遷を辿る歴史展。
	弦楽器コラと吟遊詩人グリオ	4/1～12/24	※65,356	西アフリカの楽器「コラ」とその演奏者グリオについて解説。映像も放映。
	琵琶はどこからやってきた？ ～楽器の東西伝播～	4/25～3/31	※82,344	古代ペルシアの楽器がどのように伝播して琵琶へ変化したかを解説。
	巳(み)んなへび 蛇(だ)もんで	12/26～3/31	※20,889	2025年干支の巳にちなんだ楽器等を展示。
ガイドツアー・ギャラリートーク・ミュージアムサロン・シリーズ音楽の広場 (4事業)				
	展示室ガイドツアー	毎日曜日	※1,812	展示室の主な楽器について、テーマに沿って職員がわかりやすく解説するガイドツアー。
	ギャラリートーク	毎日	※17,408	一つの楽器に焦点をあて、実演などを交えて行う職員による解説。
	ミュージアムサロン	12回	※995	ゲスト演奏家による展示室でのミニレクチャーとミニコンサート。
	シリーズ音楽の広場	23公演 (44回)	※2,999	地域の音楽家も参加できる展示室ミニコンサート。
演奏会 (5事業)				
	イブニングコンサート 「西アフリカ伝統弦楽器 コラ ～グリオ(伝統音楽家)が語り 奏でる悠久の響き～」	6/22	83	世襲制の職業音楽家「グリオ」が、西アフリカの伝統弦楽器「コラ」を使い、西アフリカの音楽や文化を紹介した。 出演：ヤクバ・ジャバテ、カラモ・シソコ
	レクチャーコンサート 「フォルテピアノでたどる ウィーンの音色」	9/21	140	ワルター製(複製)と当館所蔵のグラーフ製ピアノを演奏し、当時の音色と音楽家・製作者について語った。 出演：小倉貴久子
	イブニングサロンコンサート 「南シベリア遊牧民の伝統音楽」	11/1	35	トゥバ共和国の様々な楽器を使い、社会的・文化的な背景などを演奏とお話で紹介した。 出演：寺田亮平
	レクチャーコンサート 「日本にわたったアンデスのうた ～ペルー南部アヤクーチョ地方の 暮らしの記～」	2/22	60	企画展関連事業。アンデス高地に位置するアヤクーチョ地方の暮らしと結びつく歌を弦楽器チンリリによる伴奏で紹介した。 出演：イルマ・オスノ
	レクチャーコンサート 「踊りと共に魅せる南米の風 バンドネオン 小松亮太×アルゼンチンタンゴ」	3/7	481	企画展関連事業。バンドネオン奏者小松亮太とアルゼンチンタンゴを交えたレクチャーコンサート。平日ランチタイムコンサートとして中ホールで開催した。 出演：小松亮太ほか 共催：静岡第一テレビ

事業名	開催日	参加者数 (人)	内 容
講座・ワークショップ (12 事業)			
講座 「浜松まつりのラッパの歴史」	4/29	※145	浜松まつりで使用するラッパの歴史等を紹介した。 講師：奥中康人、磯部謙作
講座 「明治期唱歌とオルガン」	6/1	63	明治の作曲家である嶋崎赤太郎の生誕150周年を記念し、その生涯や名曲を解説した。 講師：赤井励
ワークショップ 「ストリートリードオルガン ～日本初！透明（スケルトン） リードオルガンを弾いてみよう～」	6/2	90	アクトタワー1階に中の構造が見えるリードオルガンを設置し、弾いて、見て楽しんでいただけるイベントを開催した。 共催：日本リードオルガン協会 協力：アクトシティ活性化委員会
ワークショップ 「オリジナルピアノを作ろう！」	8/19・20	※36	ペーパークラフトでオリジナルピアノを製作する子ども向けのワークショップを行った。 講師：鈴木紗耶香
講座 「中身はどう違う？ウィーンの ピアノ大解剖！」	9/22	※175	現代ピアノとの違いなど、演奏を交えながら詳しく解説した。 講師：太田垣至、小倉貴久子
ワークショップ 「演奏はどう違う？ウィーンの ピアノ（複製）を弾いてみよう」	9/22	150	小学4年生から高校生を対象として公募し、12名の受講生が19世紀ピアノの演奏を体験した。 講師：小倉貴久子
ワークショップ 「歌舞伎の清元節×付け打ちによる ワークショップラボ」	10/6	11	江戸の三味線音楽と付け打ちを解説後、両方の演奏体験をしていただいた。 講師：清元齋寿、山崎徹
ワークショップ 「琵琶を弾いてみよう～筑前琵琶～」	10/27	※110	職員の説明後、気軽に琵琶の演奏体験ができるワークショップを行った。 講師：鈴木旭明
講座 「19世紀ウィーンの音楽文化と ピアノづくり」	11/22	60	19世紀ウィーンでのピアノの普及と製作に着目。関わりの深い音楽や試奏、デザイン様式、発展の基盤となった社会を考察した。 講師：筒井はる香、平井千絵、太田垣至
ワークショップ 「琵琶を弾いてみよう～薩摩琵琶～」	11/24	※150	職員の説明後、気軽に琵琶の演奏体験ができるワークショップを行った。 講師：北村鸞城
ワークショップ 「寒さを吹き飛ばせ！サルサの体験 ワークショップ」	1/18	※95	企画展に関連するサルサの体験ワークショップ。踊りと楽器演奏の両方を体験した。 講師：土橋令子
楽器づくりワークショップ 「とり笛を作ろう！」	2/15 3/20	※33	ボール紙とストローでとり笛を作って音を出すワークショップを行った。 講師：ボランティア、職員

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
市内小学校移動博物館 (7事業)			
熊小学校	5/27	20	浜松市内小学校への移動博物館。お話と体験を織り交ぜて、クラスごとに世界の楽器文化を紹介。保護者や地域住民への開放も含む。
浦川小学校	6/28	18	
積志小学校	7/9・11	175	
都田南小学校	9/10～12	364	
雄踏小学校	11/18～22	849	
横山小学校	12/2	16	
都田小学校	2/10・12	110	
楽器整理・調査・情報発信 (10事業)			
常設展整備	通年	-	展示室、体験ルームの展示替え。
CD・図録等の販売	通年	-	所蔵楽器音源のCD、所蔵楽器の図録、オリジナルグッズを販売。
所蔵資料の調査・整理・修復	通年	-	所蔵資料の調査、整理、修理、修復。
広報誌「楽器博物館だより」発行	通年	-	年2回発行 (No. 142～143)。 市内小中学校・公共施設等に配布。
公式ホームページサイトの管理運営	通年	-	一般情報とアーカイブス、最新情報などを発信。
国際会議への参加と発表	8/23～25	-	ICTMD(国際伝統音楽舞踊学会)への参加と発表。
国際会議への参加と発表	9/9～11	-	ICOM(国際博物館会議)・CIMCIM(楽器と音楽の博物館・コレクション国際委員会)年次大会(メキシコ)への参加と研究発表。
他施設での出張展示	通年	-	新東名サービスエリア・ネオパーサ浜松SA(下り)にて当館所蔵楽器を展示。
SNS等を使った情報発信	通年	-	Facebook、Instagram、X(旧Twitter)を使って情報発信。過去の特別展、企画展のLINEスタンプを販売。
バーチャル楽器博物館の運営	通年 (R3.5.1～)	-	オンラインで館内や所蔵品を見学できるWebコンテンツ。スマホやパソコンから楽器博物館を楽しむことが可能。ページビュー数累計46,454回。累計ユーザー数27,893人。(令和7年3月末現在)

事業名	開催日	参加者数 (人)	内 容
他博物館・教育研究機関等との連携 (10 事業)			
静岡文化芸術大学との連携事業 SNS 広報連携プロジェクト	通年	-	大学生の若者目線で若い世代に向けた楽器博物館の魅力を発信するプロジェクト。当館の SNS を活用し、それぞれの利点や特性を分析し、学生たちが取材からコンテンツの制作までを行った。
静岡大学との連携事業	通年	-	静岡大学情報学部と連携、収集楽器を 3D 化し、VR 機器を利用した体験会を実施した。
透明 (スケルトン) リードオルガン お披露目会	5/31	※60	構造の見える透明リードオルガンの完成に伴い、解説を行った。講師：和久井真人、館長
ミュージアムコンサート 「小さなグランドピアノ幻の音色」	7/6	80	浜松・浜名湖ツーリズムビューロー、浜松市博物館との共同企画。浜松が生んだピアノ製作者大橋幡岩が設計した小型ピアノを紹介した。会場：浜松市博物館
ハマルおんがくプロジェクト 「ららら♪リズムくらぶ」への協力	7/27・8/19	27	外国人集住地域での児童向け移動博物館及び、楽器博物館内エクスカージョンの対応。
防災探求学習受入	9/12	9	防災探求学習の受け入れ(曳馬中学校)。
講師協力	9/24	15	「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」単位互換授業に講師として職員を派遣した。
科学館との協力事業 「青色 LED を使った電子楽器 (PB トン) を作って演奏しよう」	1/26	15	ワークショップを共同で開催。演奏部分を当館職員が担当した。講師：山脇一休、浜松城北工業高校生徒 共催：浜松科学館
「聞いてみんな体験してみん テルミン・マトリョミン」事業協力	2/23	434	テルミン・マトリョミンの解説と体験会。 共催：イオンモール浜松市野、マンダリンエレクトロン
音楽文化・芸能調査	通年	-	市内又は日本の伝承民俗芸能の調査。 今年度は舞踏歌舞伎を調査した (1/19) 。
研修受け入れ (5 事業)			
職場体験学習受入	通年	43	浜松市の中学生・高校生の職場体験受け入れ。
学芸員実習受入	8/5～10	6	全国の大学より公募選考にて受け入れ。
インターンシップ実習受入	9/19～22	2	大学生インターンシップ受け入れ。
教職員等研修受け入れ	7/29～30、 11/21	31	浜松大平台高校教職員研修、浜松市初任者研修受け入れ。
中学校との共同事業	1/30	※23	聖隷クリストファー中学 1 年生を対象に楽器説明やガムランの演奏体験を行った。講師：職員
合 計	62 事業	347, 841	(観覧者数と重複する人数 (※の事業) 344, 454)

(イ) 図録の制作・発行

- ・『所蔵楽器図録（チェンバロ、ヴァージナル、スピネット、クラヴィコード、ピアノ）増補改訂版』
2024年刊行

(ウ) 観覧者数

()内は前年度実績

観覧者数計 (人)	内 訳 (人)			
	大人	高校生	小中学生	幼児
86,245	68,700	2,992	11,686	2,867
(75,367)	(58,515)	(3,099)	(11,018)	(2,735)

(エ) 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
観覧料	42,834,080	36,537,440	6,296,640

運営総括

令和6年度は、「生成AIが急速に発達している今こそ、自ら書くこと、読むことを大切にする」というコンセプトのもと、浜松文芸館の三つの柱である「展示事業」「講座・講演会・朗読会事業」「浜松市民文芸発行」を中心に、計42事業を実施し、幅広い世代の文芸活動を支援しました。

令和7年度においても、様々な層の市民が文芸に触れる機会を創出していきます。

- ・展示事業では、俳人・松島十湖、劇団たんぽぽ創始者・小百合葉子、児童文学作家・那須田稔など、浜松の文芸活動を盛り上げた文人を広く紹介しました。職員による展示室内での説明も積極的に行い、その結果、令和5年度に引き続き1万人を超える来場者を記録しました。
- ・講座事業では、従来の子ども向け夏休み講座に加え、新たに「冬の子ども講座」を実施し、若い世代が文芸に親しむ機会を増やしました。
- ・「浜松市民文芸発行」では、評論部門で高校生が市民文芸賞を受賞するなど、幅広い世代の参画がありました。また、第70集刊行を記念し、選者のたかはたけいこと高柳克弘による特別寄稿を企画しました。

(7) 施設付帯事業の実施

事業名	開催日 回数	参加者数 (人)	内容
展示事業 (4事業)			
特別収蔵展 「俳人 松島十湖展 ～没後98年、 浜松に清々しく人のため世のために 突っ走った人がいた！～」	4/1～6/16 (3/1～)	※2,602	天竜川の治水など人々のために尽くしながら生涯俳諧に勤しんだ浜松の俳人・松島十湖を紹介した。俳句作品やエピソードと共に、彼が駆け抜けた生涯を振り返った。
特別収蔵展 「劇団たんぽぽ創始者小百合葉子・ 児童文学作家那須田稔回顧展」	7/1～ 10/14	※4,482	子どもたちに夢を与えた功労者たちに焦点をあて、その作品や生涯について紹介した。作品や劇の小道具を手にとれるコーナーも設置した。
収蔵展 「浜松ゆかりの現代日本俳人の系譜展 ～加藤雪腸から濱人そして瓜人、 羽公、喬～～」	11/1～2/9	※3,308	浜松の俳句隆盛の柱となっている三大俳誌「みづうみ」「海坂」「椎」誕生の流れ、関連の俳人たちを「系譜展」として一堂で紹介した。
特別収蔵展 「浜松ゆかりの女性作家 鷹野つぎ展 ～その生涯と作品～」	3/1～3/31 (～6/15)	※1,169	浜松に生まれ、女性作家として文学の発展に寄与した鷹野つぎを特集。数々の逆境にも挫けず、さまざまなジャンルで筆をふるった彼女の人生をたどった。
講座 (14事業)			
『源氏物語』入門講座	6回	271	『源氏物語』のあらすじをまとめた『源氏物語忍草』の玉鬘から藤裏葉までをよんだ。講師：松平和久
くずし字解読講座	6回	192	江戸時代に西洋から入ってきた『イソップ物語』。当時の板本(版本)の読解に挑戦した。講師：勝田敏勝
川柳入門講座	5回	39	川柳の知識や作り方、鑑賞の仕方を学んだ。(初心者向け) 講師：今田久帆

事業名	開催日 回数	参加者数 (人)	内容
短歌入門講座	5回	87	短歌の知識や作り方、鑑賞の仕方を学んだ。(初心者向け) 講師:柴田典昭
俳句入門講座 Ⅰ春・Ⅱ初夏・Ⅲ秋・Ⅳ初冬	16回 (各期4回)	283	俳句の知識や作り方、鑑賞の仕方を学んだ。(初心者向け) Ⅰ:4月 講師:坪井孝之 Ⅱ:6月 講師:村松二本 Ⅲ:9月 講師:天野薫 Ⅳ:11月~12月 講師:渥美絹代
『平家物語』講座	6回	175	『平家物語』の巻十~十一をよんだ。 講師:大石嘉美
『おくのほそ道』講座	6回	186	『おくのほそ道』のクライマックス、平泉・山寺・最上川・出羽三山をよんだ。 講師:勝田敏勝
朗読入門講座	6回	106	短詩や随筆をよみながら、声に出すこと、表現することの楽しさを味わった。 講師:堤腰和余
朗読書講座	6回	97	1冊の本を精読し、その世界を朗読で表現した。 講師:堤腰和余
篆刻初級講座	6回	119	文字を学習し、好きな言葉(四字熟語等)の印を作成した。 講師:下石哲幸
宮澤賢治鑑賞講座	5回	53	テキストとなる詩集の製本及び鑑賞を行った。 講師:折金紀男
『万葉集』講座	6回	239	柿本人麻呂や遣新羅使、中臣朝臣宅守と狭野弟上娘子の歌を中心によんだ。 講師:松平和久
『和泉式部日記』講座	6回	269	孤独を分かち合い、折を心得た一組の男女の知性と感性の応酬をよんだ。 講師:松平和久
浜松文芸館出張講座 『おくのほそ道-その出会いと別れ-』 (第2期・第3期)	12回 (各期6回)	-	浜松文芸館で実施している企画の中から、好評をいただいている講座を出張して実施した。 講師:勝田敏勝 会場:天竜壬生ホール
イベント事業 (2事業)			
朗読会 山本周五郎『日本婦道記』より「墨丸」	5/19	42	朗読を通して、山本周五郎作品を味わった。 講師:堤腰和余
朗読会 太宰治『お伽草紙』より	10/20	41	朗読を通して、太宰治作品を味わった。 講師:堤腰和余
講演会事業 (2事業)			
井上靖の浜松時代と作品の世界	5/11	25	少年靖の浜松時代を浮き彫りにし、浜松各地が登場する作品を紹介した。 講師:和久田雅之
先人たちの添削・推敲に学ぶ言葉の磨き方 (※当初タイトル「芭蕉に学ぶ俳句の作り方」より変更)	11/9	45	俳句上達のための極意を先人たちの句から学んだ。受講者の句を添削するミニ句会も開催した。 講師:高柳克弘

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
子ども向け事業 (5事業)			
夏休み絵本づくり講座	7/27	25	小学3年生から6年生対象。自分で作ったお話でおもしろ絵本を作成した。講師：井口恭子
楽しいお話づくり講座	8/4	24	小学1年生から3年生対象。自分の力で楽しいお話を作ることに挑戦した。講師：井口恭子
夏休み読書感想文講座	7/27・8/4	50	小学4年生から6年生対象。読書感想文を実際に書きながら、自分の感動を相手に伝える書き方を学んだ。講師：林容子
冬のこども講座 おすすめの本はこれ！ポップカードを作ろう	12/7	5	小学3年生から6年生対象。自分が大好きな本をイラストや文章でカードに書き、皆で紹介し読み合った。講師：林容子
冬のこども講座 クリスマスのとび出すカードを作ってお話に親しもう	12/7・14	17	とび出すクリスマスカード作りに挑戦し、子どもたちがお話に親しむ場を創出した。講師：井口恭子
浜松市民文芸事業 (2事業)			
第70集の作品募集・選考・編集・発行	9～3月	-	70年の歴史をもつ市民の文芸作品発表の場として、小説、評論、詩、短歌など全9部門で文芸作品を市民公募・審査選考。優秀作品を浜松市民文芸として編集・発行した。また、記念号として選者の寄稿を掲載した。
浜松市民文芸販売・電子出版	通年	-	浜松市民文芸の販売。あわせてホームページ上に電子書籍として公開。
資料の調査研究・保存・整理 (1事業)			
資料収集・研究・整理事業	通年	-	資料収集対象者を中心とした資料の収集・研究・整理分類及び寄贈品の整理等を行った。
教育機関との連携 (4事業)			
入館者や学習見学者への案内・説明	通年	-	入館者・見学者への展示室案内、展示内容についての説明などを行った。
職場体験学習・フィールドワーク受入	通年	-	フィールドワーク(学外実習)希望者や、市内中高生の職場体験学習の受け入れと出前講座(1/28八幡中学校にて俳句の魅力講座)を実施。
インターンシップ実習受入	8/23・24	2	大学生インターンシップの受け入れを行った。
特別フィールドワーク 静岡大学地域創造学環との連携事業	通年	4	静岡大学が実施する地域創造学環フィールドワークとの連携事業。本年度は子ども講座の補助役として学生が参加した。

事業名	開催日回数	参加者数(人)	内容
クリエイト浜松とのコラボ事業 (2事業)			
浜松文芸館インフォメーションコーナーの運営	通年	-	クリエイト浜松 1 階に浜松文芸館を紹介するコーナーを設置し、浜松文芸館の存在と事業を広く周知した。
フォト俳句・短歌展	1/25・26	-	クリエイトの冬まつりにおいて、市内学生が浜松写真連絡協議会提供の写真作品から着想を得た俳句・短歌を展示した。
その他事業 (6事業)			
文芸館だより「いざない」発行	通年	-	浜松文芸館の各講座や展示、浜松と関係のある文人、文学を紹介。No. 80, 81, 82, 83を発行した。
浜松市文化振興財団自主出版『風紋のアンソロジー』Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ販売	通年	-	浜松ゆかりの作家らのエッセイや選句集などを収録した文庫本の販売を行った。(500円/冊)
『裾野の「虹」が結んだ交誼 曾宮一念、藤枝静男宛書簡』販売	通年	-	曾宮一念と藤枝静男の生い立ちから出会いまでと二人の書簡を時系列で紹介した本の販売を行った。(2,037円/冊)
出版物・地域伝統品の委託販売	通年	-	講座講師著書や、やらまいかブランド「遠州綿紬」使用品等の委託販売を行った。
移動浜松文芸館	11月	-	令和5年度企画展「郷土誌からみる浜松の今昔」展示資料を水窪文化会館・森町文化会館へ貸出展示した。
中部協働センター「クリエイト大学」出前講座「浜松文学散歩」	3/6	30	井上靖・藤枝静男・鷹野つぎや、森鷗外『渋江抽斎』・松本清張『黒い樹海』など、浜松にゆかりのあった作家・作品を紹介した。
合計	42事業	13,987	(観覧者数と重複する人数(※の事業) 11,561)

※別表 第70集「浜松市民文芸」応募状況

()内は前年度実績

募集部門	応募数(人)
小説	11 (11)
児童文学	5 (5)
評論	5 (6)
随筆	23 (25)
詩	23 (42)
短歌	94 (101)
定型俳句	168 (167)
自由律俳句	50 (45)
川柳	78 (84)
合計	457 (486)

(イ) 施設稼働率等

() 内は前年度実績

	利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
講座室	50.0% (55.6%)	346 (351)	173 (195)	2,291 (2,189)

(ウ) 観覧者数

() 内は前年度実績

開館日数 (日)	観覧者数計 (人)	内 訳 (人)		
		大人 (高齢者含む)	高校生	小中学生・未就学児
297 (308)	11,561 (11,592)	11,407 (11,392)	23 (6)	131 (194)

(エ) 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設利用	322,330	407,640	△85,310

運営総括

市民ミュージアム浜北は、浜北文化センター内に設置された浜松市博物館の分館であり、浜北地域の歴史資料や暮らしに関する文化財を展示する施設です。地域文化を継承し次世代に伝達する役割を担っています。

令和6年度は、浜北文化センターの改修工事に伴い休館となりました。これにより、展示事業や展示室維持管理業務の実施はありませんでしたが、以下の業務に取り組みました。

- ・浜松市博物館による展示資料の移管作業を支援するとともに、資料本体以外の各種備品については、財団で適正に移管しました。
- ・浜松市及び工事関係業者との調整を行い、工事の円滑な進行を支援しました。
- ・休館期間中も、オンラインを活用した情報発信に努めました。SNSを活用した所蔵資料の紹介やリニューアルオープンに関する情報提供を行いました。また、公式ページのデザイン刷新作業に着手し、リニューアルオープンに向けて各種メニューや資料画像の掲載を拡充するなど、博物館らしいウェブサイトの立ち上げを準備しています。

(7) 施設付帯事業の実施

改修工事のため実施なし

(イ) 観覧者数

改修工事のため閉館

運営総括

浜松市秋野不矩美術館は、天竜区二俣町出身の日本画家・秋野不矩の偉業と、藤森照信設計による本館建築の価値を地域・全国・次世代へ広く伝えるため、多様な事業を展開しています。

令和6年度は、特に以下の点に重点を置き、来館者の秋野不矩作品と日本画芸術への理解を深める取り組みを行いました。

- ・特別展「内田めぐり 汜 Fluxes」では、児童等を対象とした作家本人による日本画ワークショップ、特別展「日本画☆動物園」では鑑賞ワークシート、作品人気投票など親子で楽しめる企画の実施により、日本画に触れる機会を提供しました。
- ・昨年度に引き続き、展示作品のキャプション及びギャラリートークの質的充実を図りました。展覧会の趣旨に沿って解説テキストを変更したほか、他館学芸員や出展作家のギャラリートーク・本館学芸員や館長のギャラリートークを行うなどして、作家の創造性を多角的にわかりやすく紹介しました。
- ・多様な芸術文化との融合を図る「ミュージアムコンサート」の開催、市民ギャラリー利用者への活動支援、地域学校等を対象とした教育普及事業、地元天竜の団体や商店街との事業連携など、多面的な事業に取り組みました。
- ・令和10年度「秋野不矩生誕120年展」の開催に向け、一般社団法人秋野不矩の会（ご遺族）や関係美術館との調整を開始しました。

(7) 施設付帯事業の実施

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
展示事業 (8事業)			
所蔵品展 (5事業)			
《有為転変》 変化してやまぬ創造の源 I ～流転～	4/2～14	※530	伝統と創造(革新)の狭間で、新しい日本画の創造を目指し、様々な団体に試行錯誤を続けた画業に焦点を当てた。作家の創造の源に迫った。
《有為転変》 変化してやまぬ創造の源 II ～脈～	7/2～21	※976	常に変化し続ける世界の中でも、脈々と流れる変わらぬ人の思い、生命のつながりや文化の継承に焦点を当てた。深化・発展していく日本画の魅力を紹介した。
《有為転変》 変化してやまぬ創造の源 III ～在～	10/5～ 11/17	※3,172	何気ない風景や見慣れた景色の中から、見落とすにはならない価値を顕在化させた不矩の眼差しに焦点を当てた。不矩が明らかにしたかった表現を顕在化させた。
《有為転変》 変化してやまぬ創造の源 IV ～理～	12/3～ 1/13	※1,592	同じ状態を留めない自然の姿、世界中を取材した不矩がたどり着いた新たな日本画表現に焦点を当てた。作品を通して人間・秋野不矩の根源に迫る展示を行った。
《有為転変》 変化してやまぬ創造の源 V ～是空～	3/25～31	※553	晩年の表現に視点を当て、説明的要素を徹底的に省いた表現を紹介した。見えないもの・形なきものの姿や不矩が目指した究極の筆触表現に焦点を当て、その魅力を紹介した。

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
特別展 (3事業)			
特別展 「内田あぐり 氾 Fluxes」	4/27～6/23 開会式4/26	※4,297	現代日本画を代表する作家の一人、内田あぐりが生命の躍動を描いた7メートルを超える大作や近作の数々、原点である人間像やドローイングのほか、当美術館周辺を取材した新作を展示。
特別展 「日本画☆動物園」	8/3～9/16 開会式8/2	※9,407	親子で楽しめる夏休み企画。現代の日本画家たちの視点で追求した様々な動物たちが一堂に会する展覧会。動物の表現を通して、かけがえのないいのちの表情を堪能できる作品を紹介。
特別展 「秋野不矩と高畑郁子 ーインドとの邂逅ー」	1/25～3/16 開会式1/24	※4,092	インドをテーマに革新表現に挑んできた2人の女流画家。高畑の華やかな色彩表現と、不矩の生命のバイタリティを可視化する表現を通して、人間の本質を捉えた作品を紹介。
展覧会関連事業・教育普及事業 (18事業)			
こどものためのギャラリートーク	4/27	※33	日本画ワークショップ開催前に、内田あぐりが自身の作品について描く過程や日本画の絵の具の使い方について紹介した。
日本画ワークショップ	4/27	※19	内田あぐりによる小学生～高校生までを対象とした日本画の画材を使って描くワークショップ。子どもたちは絵の具の溶き方などを学び、大きな和紙に共同制作として表現した。作品はクリエート浜松(7/19～21)、浜松学芸高校(11/2～13)でも展示した。
特別展「内田あぐり 氾 Fluxes」 ギャラリートーク	6/1	※97	展示室内にて内田あぐりと美術評論家・原田光による一般観覧者向けの作品解説を実施。
特別展「内田あぐり 氾 Fluxes」 館長トーク	6/12、15	※35	展示室内にて、本館館長による作品解説を実施。
特別展「内田あぐり 氾 Fluxes」 アーティストトーク	6/23	※60	展示室内にて、内田あぐりによる一般観覧者向けの作品解説を実施。
特別展「日本画☆動物園」 ギャラリートーク	8/3	※22	出展作品を所蔵する郷さくら美術館学芸員・林洗次による一般観覧者向けの作品解説を実施。
特別展「日本画☆動物園」 出品作家によるギャラリートーク	8/18	※65	展示室内にて、展示作家で浜松市在住の栗原幸彦による作品解説を実施。
子ども向けワークショップ ～動物にいのちを吹き込もう～	8/20	30	日本画家・栗原幸彦による小中学生を対象とした動物を描くワークショップを実施。鳥などの剥製を観察しながら、動物(いのち)を描く楽しさを伝えた。
特別展「秋野不矩と高畑郁子 ーインドとの邂逅ー」 ギャラリートーク	2/23	※41	高畑郁子と親交のあった碧南市藤井達吉現代美術館特任学芸員の大野俊治と当館学芸員による一般観覧者向けの作品解説を実施。

事業名	開催日	参加者数 (人)	内容
特別展「秋野不矩と高畑郁子 ーインドとの邂逅ー」館長トーク	3/8	※30	展示室にて、本館館長による一般観覧者向けの作品解説を実施。秋野不矩作品のみかたや、当時の芸術の潮流から高畑郁子作品を解説した。
団体向け見学前ガイド	通年	※891 (39 団体)	秋野不矩の画業や人物像、藤森建築について理解を深める見学前ガイドを実施。
講演会事業 (3 事業)			
出張講座 地域文化セミナー「天竜出身の画家 秋野不矩の絵と人生」	7/27	18	秋野不矩の作品と生涯について紹介する講座を実施。 会場：三方原協働センター
浜松市立光明幼稚園 家庭教育講座	9/19	12	幼稚園年少保護者を対象とした教育講演会。今の時代に求められる力、こどもの描いた絵から読み取る親子関係などについて講演した。
浜松市立高等学校出張授業	10・23	4	当館学芸員が、美術の授業にて館の概要や学芸員の仕事、キュレーションの方法などについて講義した。
教育プログラム受入	通年	※164 (3 校)	校外学習などの教育プログラム等の受け入れ。 (城山中2年生3名、二俣小3年生50名、曳馬小5年生111名)
職場体験受入	7/9	3	浜松市内の高校生の就業体験受け入れ。
インターンシップ実習受入	9/10～13	2	大学生インターンシップの受け入れ。
中堅教諭等資質向上研修受入	8/20・21 8/22・23	4	浜松市及び近隣市の教職員研修(中堅教員資質向上研修)の受け入れ。
地域連携・広報・その他事業 (7 事業)			
市民ギャラリーの貸出	通年	10 団体	企画展示室を市民ギャラリーとして貸し出し、市民の創作活動の発表の場として活用。(特別展開催期間を除いて実施)
浜松市美術館「市展」への協力	年1回	-	浜松市美術館「市展」の作品受付・返却業務。 受付会場：二俣ふれあいセンター
公式ホームページサイトの管理運営 及び SNS による情報発信	通年	-	公式HPサイトの管理運営及びXやInstagram等を活用した情報発信。
メディア取材・雑誌等の記事掲載	通年	-	新聞、ラジオ、ケーブルテレビ、美術関係月刊誌等への情報提供。
売店事業	通年	-	図録・ハガキ・グッズ等の販売及び在庫管理。
ミュージアムコンサート	10/14 1/12	※115 ※116	市内演奏家を起用した館内ミニコンサート。作品を鑑賞しながら音楽を楽しむ。音楽ファンなど新規層の来館を促す。

事業名		開催日	参加者数 (人)	内 容
地域連携事業		通年	-	市中山間地域での謎解きイベント「やまもりアドベンチャー(浜松市主催)」、市民ギャラリーでの「秋野不矩青春紀行展(天竜高校同窓会主催)」への開催協力。
調査研究・保存・整理 (2事業)				
作品および資料の研究・整理・収集		通年	-	秋野不矩に関連する作品や資料の研究・整理及び浜松市が主管する資料収集への協力。
秋野不矩生誕120年記念事業の準備・調整		通年	-	2028年の秋野不矩生誕120年記念展覧会開催に向け、一般社団法人秋野不矩の会(不矩ご遺族)との月1回のZoomミーティングを開始。事業準備・調整を行った。
合 計		35事業	26,380	(観覧者数と重複する人数(※の事業)26,307)

(イ) 観覧者数

() 内は前年度実績

開館日数 (日)	観覧者数計 (人)	内 訳 (人)			
		大人 (高齢者・障害者他含む)	高校生	小中学生	未就学児
240 (253)	24,619 (22,194)	21,884 (20,473)	937 (534)	1,334 (892)	464 (295)

(ウ) 施設稼働率等

() 内は前年度実績

	利用率	延べ利用可能数(日)	延べ利用実数(日)	入場者数(人) ギャラリーの入場
市民ギャラリー※	69.7% (55.8%)	99 (113)	69 (63)	4,968 (3,585)

※特別展開催中は施設貸出なし

5 理事会及び評議員会等決議事項

(1) 評議員会議決事項

議決番号	開催年月日	件名
第1号議案	R6. 6. 27	令和5年度事業報告及び会計報告の承認について
第2号議案	R6. 6. 27	理事の選任について
第3号議案	R6. 6. 27	評議員の選任について
第4号議案	R6. 6. 27	監事の選任について
第5号議案	R6. 7. 26	理事の選任について（決議省略）
第6号議案	R7. 3. 26	公益財団法人浜松市文化振興財団役員の報酬等に関する規程の一部改正について（決議省略）

(2) 理事会決議事項

議決番号	開催年月日	件名
第1号議案	R6. 6. 11	令和5年度事業報告及び会計報告の承認について
第2号議案	R6. 6. 11	令和6年度定時評議員会の招集及び提出議案について
第3号議案	R6. 6. 11	次期代表理事の予選について（当日上程）
第4号議案	R6. 6. 11	次期副理事長の予選について（当日上程）
第5号議案	R6. 6. 11	次期常務理事の予選について（当日上程）
第6号議案	R6. 7. 18	令和6年度臨時評議員会招集について（決議省略）
第7号議案	R6. 11. 30	公益財団法人浜松市文化振興財団職員給与規程の一部改正について（決議省略）
第8号議案	R6. 11. 30	公益財団法人浜松市文化振興財団契約職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について（決議省略）
第9号議案	R6. 11. 30	公益財団法人浜松市文化振興財団嘱託員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について（決議省略）
第10号議案	R6. 12. 17	令和7年度事業計画の一部策定について
第11号議案	R7. 3. 18	公益財団法人浜松市文化振興財団組織規程の一部改正について
第12号議案	R7. 3. 18	公益財団法人浜松市文化振興財団会計処理規程の一部改正について
第13号議案	R7. 3. 18	公益財団法人浜松市文化振興財団所管施設利用料金規程の一部改正について
第14号議案	R7. 3. 18	公益財団法人浜松市文化振興財団職員就業規程の一部改正について
第15号議案	R7. 3. 18	公益財団法人浜松市文化振興財団職員給与規程の一部改正について
第16号議案	R7. 3. 18	公益財団法人浜松市文化振興財団職員退職手当支給規程の一部改正について
第17号議案	R7. 3. 18	公益財団法人浜松市文化振興財団契約職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について

議決番号	開催年月日	件 名
第 18 号議案	R7. 3. 18	公益財団法人浜松市文化振興財団嘱託員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について
第 19 号議案	R7. 3. 18	公益財団法人浜松市文化振興財団職員等の介護休業等に関する規程の一部改正について
第 20 号議案	R7. 3. 18	役員等賠償責任保険の契約加入について
第 21 号議案	R7. 3. 18	令和 7 年度事業計画の策定について
第 22 号議案	R7. 3. 18	令和 7 年度収支予算の策定について
第 23 号議案	R7. 3. 18	特定費用準備資金の積立について
第 24 号議案	R7. 3. 18	公益財団法人浜松市文化振興財団評議員及び役員の報酬等に関する規程の一部改正について
第 25 号議案	R7. 3. 18	令和 6 年度臨時評議員会招集について
第 26 号議案	R7. 3. 18	事務局長の任命について (当日上程)

(3) 経営会議開催概況

ア 実施概況

15 回開催 (原則月 2 回)

イ 出席者

役 員 理事長、副理事長、常務理事

事務局 事務局長、文化事業課長、経営企画課長、議題に関係する館長・担当課長・専門監

6 役員に関する事項

(1) 役員名簿（令和7年3月31日現在）

役職	氏名
代表理事	花井 和徳
副理事長	山崎 貴裕
常務理事	寺田 聖子
理事	内村 幸夫
理事	斉藤 薫
理事	佐々木 右子
理事	梶山 久美
理事	平井 正大
理事	松下 育蔵
監事	鈴木 玲美
監事	半場 浩恭

役職	氏名
評議員	伊藤 充宏
評議員	加藤 晃嗣
評議員	加藤 祐輔
評議員	河合 健太郎
評議員	杉山 岳弘
評議員	谷川 真美
評議員	松木 温
評議員	丸山 晃司
評議員	宮崎 正
評議員	山名 裕
評議員	横田 みどり

(2) 役員の変動

(ア) 就任

役職名	氏名	就任日
理事	平井 正大	R6. 7. 18
監事	鈴木 玲美	R6. 6. 28

(イ) 退任または辞任

役職名	氏名	退任・辞任日
理事	石川 晃三	R6. 7. 10
監事	藤井 洋子	R6. 6. 27

役職名	氏名	退任・辞任日
評議員	宮崎 正	R7. 3. 31

7 職員に関する事項

(単位：人)

所属	R7.3.31 職員数計	R7.3.31 職員数内訳			備考 R6.3.31 職員数
		正規職員	契約職員	嘱託員	
事務局長	1	0	0	1	1
文化事業課	23	14	1	8	23
アクトシティ浜松	18	6	3	9	20
クリエート浜松	9	4	0	5	8
浜松市浜北文化センター 浜松市・市民ミュージアム浜北	3	2	0	1	4
浜松市なゆた・浜北	—	(指定管理共同事業体で運営)			—
浜松市天竜壬生ホール	4	2	1	1	4
浜松市市民音楽ホール	6	3	0	3	6
浜松市楽器博物館	10	4	0	6	10
浜松文芸館	3	0	0	3	3
浜松市秋野不矩美術館	4	1	0	3	5
経営企画課	10	8	1	1	10
計	91	44	6	41	94

休業中の職員を含む

令和 6 年度

決算 の 状 況

1 貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	1,597,825	3,719,131	△ 2,121,306
普通預金	455,022,907	499,747,938	△ 44,725,031
定期預金	100,000,000	100,000,000	0
未収金	132,288,424	139,054,981	△ 6,766,557
未収利息	1,848,753	941,366	907,387
前払金	7,998,442	7,188,010	810,432
立替金	169,543	688,603	△ 519,060
棚卸資産	4,617,812	3,991,567	626,245
貸倒引当金	△ 26,458	△ 27,811	1,353
流動資産合計	703,517,248	755,303,785	△ 51,786,537
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	1,790,000,000	1,490,000,000	300,000,000
定期預金	349,768,767	649,768,767	△ 300,000,000
基本財産合計	2,139,768,767	2,139,768,767	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	321,027,298	293,622,240	27,405,058
事業基金	183,144,305	183,144,305	0
広域文化基金	8,119,134	8,119,134	0
ピアノコンクール積立資産	105,000,000	90,000,000	15,000,000
大型公演事業積立資産	131,000,000	51,000,000	80,000,000
仲道子供音楽事業資産	7,205,153	8,550,024	△ 1,344,871
30周年記念事業積立資産	0	20,000,000	△ 20,000,000
文化芸術活動助成事業積立資産	22,523,317	25,000,000	△ 2,476,683
退職給付引当率増対策積立資産	45,920,872	49,700,000	△ 3,779,128
オークラ助成事業資産	750,027	0	750,027
運用財産積立資産	400,000,000	400,000,000	0
特定資産合計	1,224,690,106	1,129,135,703	95,554,403
(3) その他固定資産			
建物附属設備	2,424,450	2,424,450	0
減価償却累計額	△ 2,424,449	△ 2,424,449	0
什器備品	801,675	801,675	0
減価償却累計額	△ 801,674	△ 766,045	△ 35,629
ソフトウェア	1,056,000	0	1,056,000
減価償却累計額	△ 105,600	0	△ 105,600
リース資産	60,381,090	50,174,250	10,206,840
減価償却累計額	△ 24,403,489	△ 23,722,887	△ 680,602
その他固定資産合計	36,928,003	26,486,994	10,441,009
固定資産合計	3,401,386,876	3,295,391,464	105,995,412
資産合計	4,104,904,124	4,050,695,249	54,208,875

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	152,808,687	162,457,730	△ 9,649,043
前受金	92,195,819	76,569,816	15,626,003
預り金	22,917,744	46,919,385	△ 24,001,641
リース債務	12,080,595	8,919,509	3,161,086
賞与引当金	31,111,398	30,310,011	801,387
役員賞与引当金	492,000	426,660	65,340
流動負債合計	311,606,243	325,603,111	△ 13,996,868
2 固定負債			
リース債務	24,270,331	17,825,696	6,444,635
退職給付引当金	321,027,298	293,622,240	27,405,058
固定負債合計	345,297,629	311,447,936	33,849,693
負債合計	656,903,872	637,051,047	19,852,825
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
事業基金	183,144,305	183,144,305	0
仲道子供音楽事業資産	7,205,153	8,550,024	△ 1,344,871
オークラ助成事業資産	750,027	0	750,027
指定正味財産合計	191,099,485	191,694,329	△ 594,844
(うち特定資産への充当額)	(191,099,485)	(191,694,329)	(△ 594,844)
2 一般正味財産	3,256,900,767	3,221,949,873	34,950,894
(うち基本財産への充当額)	(2,139,768,767)	(2,139,768,767)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(712,563,323)	(643,819,134)	(68,744,189)
正味財産合計	3,448,000,252	3,413,644,202	34,356,050
負債及び正味財産合計	4,104,904,124	4,050,695,249	54,208,875

2 正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	7,336,874	5,083,082	2,253,792
基本財産運用益計	7,336,874	5,083,082	2,253,792
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	1,592,711	1,546,880	45,831
特定資産運用益計	1,592,711	1,546,880	45,831
③ 事業収益			
入場料収益	79,709,190	50,631,760	29,077,430
チケット手数料収益	4,993,356	2,713,574	2,279,782
イベント関連収益	22,748,941	15,502,783	7,246,158
協賛金・共催事業収益	52,304,059	12,117,520	40,186,539
受取会費	10,993,700	10,039,000	954,700
広告料収益	1,148,000	1,565,000	△ 417,000
使用料収益	7,999,463	6,979,285	1,020,178
手数料収益	14,285,055	14,343,917	△ 58,862
図書販売収益	107,400	142,722	△ 35,322
売上収益	8,510,393	2,342,326	6,168,067
施設利用料金収益	680,635,925	747,122,203	△ 66,486,278
観覧料収益	42,695,200	36,342,000	6,353,200
事業収益計	926,130,682	899,842,090	26,288,592
④ 受取指定管理料等			
受取指定管理料	1,288,817,000	1,324,115,640	△ 35,298,640
受取消費税関係交付金	0	588,467	△ 588,467
受取指定管理料等計	1,288,817,000	1,324,704,107	△ 35,887,107
⑤ 受取受託金			
受取事業市受託金	112,501,694	107,038,998	5,462,696
受取受託金計	112,501,694	107,038,998	5,462,696
⑥ 受取補助金等			
受取国庫補助金	0	5,077,666	△ 5,077,666
受取市補助金	10,390,572	31,321,293	△ 20,930,721
受取民間補助金	289,802	337,950	△ 48,148
受取補助金等計	10,680,374	36,736,909	△ 26,056,535
⑦ 受取負担金			
受取事業市負担金	179,777,528	70,296,461	109,481,067
受取負担金計	179,777,528	70,296,461	109,481,067
⑧ 受取寄付金			
受取寄付金	1,535,000	100,000	1,435,000
受取仲道子供音楽事業資産振替額	1,344,871	1,740,199	△ 395,328
受取寄付金計	2,879,871	1,840,199	1,039,672
⑨ 雑収益			
受取利息	463,222	9,364	453,858
雑収益	1,609,887	1,714,932	△ 105,045
雑収益計	2,073,109	1,724,296	348,813
経常収益計	2,531,789,843	2,448,813,022	82,976,821

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	3,753,083	3,708,533	44,550
給料手当	371,918,805	371,267,825	650,980
臨時雇賃金	40,441,698	49,328,464	△ 8,886,766
退職給付費用	26,081,550	23,809,578	2,271,972
福利厚生費	66,032,180	67,028,208	△ 996,028
交際費	47,661	442,766	△ 395,105
会議費	109,551	789,725	△ 680,174
懇談会費	5,657,631	3,854,540	1,803,091
旅費交通費	39,353,995	12,227,785	27,126,210
通信運搬費	13,394,681	9,982,657	3,412,024
減価償却費	11,407,847	12,403,716	△ 995,869
消耗什器備品費	4,778,630	2,724,498	2,054,132
消耗品費	28,959,583	27,608,190	1,351,393
修繕費	10,109,843	11,599,710	△ 1,489,867
印刷製本費	28,754,565	28,387,382	367,183
燃料費	273,159	238,096	35,063
光熱水料費	55,762,366	71,757,018	△ 15,994,652
使用料賃借料	35,270,739	29,091,716	6,179,023
保険料	3,659,770	3,370,320	289,450
諸謝金	61,046,564	36,977,192	24,069,372
租税公課	62,068,997	61,781,369	287,628
支払負担金	764,374,852	732,946,114	31,428,738
支払助成金	10,615,111	4,317,576	6,297,535
委託費	723,955,290	722,989,031	966,259
手数料	24,265,521	11,109,635	13,155,886
広告料	13,748,184	12,287,830	1,460,354
商品仕入	1,478,811	9,600	1,469,211
支払利息	446,123	468,661	△ 22,538
貸倒引当金繰入	11,776	2,512	9,264
雑費	52,022	122,702	△ 70,680
事業費計	2,407,830,588	2,312,632,949	95,197,639
② 管理費			
役員報酬	3,224,055	3,157,355	66,700
給料手当	55,076,920	53,601,145	1,475,775
退職給付費用	3,030,108	6,661,644	△ 3,631,536
福利厚生費	9,548,050	9,209,669	338,381
交際費	75,011	39,567	35,444
会議費	5,200	0	5,200
旅費交通費	140,173	137,146	3,027
通信運搬費	228,200	235,236	△ 7,036
減価償却費	1,515,144	902,232	612,912
消耗什器備品費	0	365,750	△ 365,750
消耗品費	95,762	117,058	△ 21,296
印刷製本費	0	83,600	△ 83,600
使用料賃借料	130,165	276,413	△ 146,248
保険料	733,280	711,840	21,440

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
諸謝金	185,000	65,000	120,000
租税公課	963,453	916,631	46,822
支払負担金	465,900	385,700	80,200
委託費	11,516,600	12,519,400	△ 1,002,800
手数料	1,802,770	982,470	820,300
支払利息	92,870	17,739	75,131
雑費	0	170	△ 170
管理費計	88,828,661	90,385,765	△ 1,557,104
経常費用計	2,496,659,249	2,403,018,714	93,640,535
当期経常増減額	35,130,594	45,794,308	△ 10,663,714
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
什器備品売却益	0	8,366,468	△ 8,366,468
経常外収益計	0	8,366,468	△ 8,366,468
当期経常外増減額	0	8,366,468	△ 8,366,468
税引前当期一般正味財産増減額	35,130,594	54,160,776	△ 19,030,182
法人税、住民税及び事業税	179,700	345,600	△ 165,900
当期一般正味財産増減額	34,950,894	53,815,176	△ 18,864,282
一般正味財産期首残高	3,221,949,873	3,168,134,697	53,815,176
一般正味財産期末残高	3,256,900,767	3,221,949,873	34,950,894
II 指定正味財産増減の部			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	3,832	3,878	△ 46
② 受取寄付金			
受取寄付金	750,027	0	750,027
③ 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 1,348,703	△ 1,744,077	395,374
当期指定正味財産増減額	△ 594,844	△ 1,740,199	1,145,355
指定正味財産期首残高	191,694,329	193,434,528	△ 1,740,199
指定正味財産期末残高	191,099,485	191,694,329	△ 594,844
III 正味財産期末残高	3,448,000,252	3,413,644,202	34,356,050

正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息	3,668,437	0	3,668,437	0	7,336,874
基本財産運用益計	3,668,437	0	3,668,437	0	7,336,874
② 特定資産運用益					
特定資産受取利息	14,926	14	1,577,771	0	1,592,711
特定資産運用益計	14,926	14	1,577,771	0	1,592,711
③ 事業収益					
入場料収益	79,709,190	0	0	0	79,709,190
チケット手数料収益	4,993,356	0	0	0	4,993,356
イベント関連収益	22,748,941	0	0	0	22,748,941
協賛金・共催事業収益	52,304,059	0	0	0	52,304,059
受取会費	10,993,700	0	0	0	10,993,700
広告料収益	1,148,000	0	0	0	1,148,000
使用料収益	7,882,792	116,671	0	0	7,999,463
手数料収益	14,143,856	141,199	0	0	14,285,055
図書販売収益	107,400	0	0	0	107,400
売上収益	8,510,393	0	0	0	8,510,393
施設利用料金収益	667,480,211	13,984,714	0	829,000	680,635,925
観覧料収益	42,695,200	0	0	0	42,695,200
事業収益計	912,717,098	14,242,584	0	829,000	926,130,682
④ 受取指定管理料等					
受取指定管理料	1,194,778,598	14,476,269	79,562,133	0	1,288,817,000
受取指定管理料等計	1,194,778,598	14,476,269	79,562,133	0	1,288,817,000
⑤ 受取受託金					
受取事業市受託金	112,501,694	0	0	0	112,501,694
受取受託金計	112,501,694	0	0	0	112,501,694
⑥ 受取補助金等					
受取市補助金	10,270,610	119,962	0	0	10,390,572
受取民間補助金	289,802	0	0	0	289,802
受取補助金等計	10,560,412	119,962	0	0	10,680,374
⑦ 受取負担金					
受取事業市負担金	179,777,528	0	0	0	179,777,528
受取負担金計	179,777,528	0	0	0	179,777,528
⑧ 受取寄付金					
受取寄付金	1,535,000	0	0	0	1,535,000
受取仲道子供音楽事業資産振替額	1,344,871	0	0	0	1,344,871
受取寄付金計	2,879,871	0	0	0	2,879,871
⑨ 雑収益					
受取利息	0	0	463,222	0	463,222
雑収益	561,260	4,627	1,044,000	0	1,609,887
雑収益計	561,260	4,627	1,507,222	0	2,073,109
経常収益計	2,417,459,824	28,843,456	86,315,563	829,000	2,531,789,843

(単位：円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
(2) 経常費用					
① 事業費					
役員報酬	3,726,811	26,272	0	0	3,753,083
給料手当	370,168,426	1,750,379	0	0	371,918,805
臨時雇賃金	40,287,155	154,543	0	0	40,441,698
退職給付費用	26,013,974	67,576	0	0	26,081,550
福利厚生費	65,723,654	308,526	0	0	66,032,180
交際費	47,661	0	0	0	47,661
会議費	109,551	0	0	0	109,551
懇談会費	5,657,631	0	0	0	5,657,631
旅費交通費	39,350,394	3,601	0	0	39,353,995
通信運搬費	13,347,400	47,281	0	0	13,394,681
減価償却費	11,170,500	237,347	0	0	11,407,847
消耗什器備品費	4,759,507	19,123	0	0	4,778,630
消耗品費	28,789,323	170,260	0	0	28,959,583
修繕費	10,003,541	106,302	0	0	10,109,843
印刷製本費	28,744,724	9,841	0	0	28,754,565
燃料費	268,951	4,208	0	0	273,159
光熱水料費	55,757,707	4,659	0	0	55,762,366
使用料賃借料	35,072,030	198,709	0	0	35,270,739
保険料	3,616,586	43,184	0	0	3,659,770
諸謝金	61,031,095	15,469	0	0	61,046,564
租税公課	61,488,359	580,638	0	0	62,068,997
支払負担金	749,433,964	14,940,888	0	0	764,374,852
支払助成金	10,615,111	0	0	0	10,615,111
委託費	716,016,543	7,938,747	0	0	723,955,290
手数料	24,215,361	50,160	0	0	24,265,521
広告料	13,748,184	0	0	0	13,748,184
商品仕入	1,478,811	0	0	0	1,478,811
支払利息	436,754	9,369	0	0	446,123
貸倒引当金繰入	11,529	247	0	0	11,776
雑費	52,022	0	0	0	52,022
事業費計	2,381,143,259	26,687,329	0	0	2,407,830,588
② 管理費					
役員報酬	0	0	3,224,055	0	3,224,055
給料手当	0	0	55,076,920	0	55,076,920
退職給付費用	0	0	3,030,108	0	3,030,108
福利厚生費	0	0	9,548,050	0	9,548,050
交際費	0	0	75,011	0	75,011
会議費	0	0	5,200	0	5,200
旅費交通費	0	0	140,173	0	140,173
通信運搬費	0	0	228,200	0	228,200
減価償却費	0	0	1,515,144	0	1,515,144
消耗品費	0	0	95,762	0	95,762
使用料賃借料	0	0	959,165	829,000	130,165
保険料	0	0	733,280	0	733,280

(単位：円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
諸謝金	0	0	185,000	0	185,000
租税公課	0	0	963,453	0	963,453
支払負担金	0	0	465,900	0	465,900
委託費	0	0	11,516,600	0	11,516,600
手数料	0	0	1,802,770	0	1,802,770
支払利息	0	0	92,870	0	92,870
管理費計	0	0	89,657,661	829,000	88,828,661
経常費用計	2,381,143,259	26,687,329	89,657,661	829,000	2,496,659,249
当期経常増減額	36,316,565	2,156,127	△ 3,342,098	0	35,130,594
他会計振替前当期一般正味財産増減額	36,316,565	2,156,127	△ 3,342,098	0	35,130,594
他会計振替額	581,201	△ 581,201	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	36,897,766	1,574,926	△ 3,342,098	0	35,130,594
法人税、住民税及び事業税	0	179,700	0	0	179,700
当期一般正味財産増減額	36,897,766	1,395,226	△ 3,342,098	0	34,950,894
一般正味財産期首残高	1,654,501,418	75,324,857	1,492,123,598	0	3,221,949,873
一般正味財産期末残高	1,691,399,184	76,720,083	1,488,781,500	0	3,256,900,767
II 指定正味財産増減の部					
① 特定資産運用益					
特定資産受取利息	3,832	0	0	0	3,832
② 受取寄付金					
受取寄付金	750,027	0	0	0	750,027
③ 一般正味財産への振替額					
一般正味財産への振替額	△ 1,348,703	0	0	0	△ 1,348,703
当期指定正味財産増減額	△ 594,844	0	0	0	△ 594,844
指定正味財産期首残高	191,694,329	0	0	0	191,694,329
指定正味財産期末残高	191,099,485	0	0	0	191,099,485
III 正味財産期末残高	1,882,498,669	76,720,083	1,488,781,500	0	3,448,000,252

3 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

- ア 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。
- イ 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）によっている。
- ウ 固定資産の減価償却の方法
(ア) 建物附属設備、什器備品及びソフトウェア
定額法によっている。
(イ) リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- エ 引当金の計上基準
(ア) 貸倒引当金
債権を適正に評価するため、一般債権については貸倒実績率による算定額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。
(イ) 賞与引当金
職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
(ウ) 役員賞与引当金
役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
(エ) 退職給付引当金
期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- オ 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(2) 会計方針の変更

該当なし。

(3) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,490,000,000	300,000,000	0	1,790,000,000
定期預金	649,768,767	0	300,000,000	349,768,767
小計	2,139,768,767	300,000,000	300,000,000	2,139,768,767
特定資産				
退職給付引当資産	293,622,240	28,866,658	1,461,600	321,027,298
事業基金	183,144,305	0	0	183,144,305
広域文化基金	8,119,134	0	0	8,119,134
ピアノコンクール積立資産	90,000,000	45,000,000	30,000,000	105,000,000
大型公演事業積立資産	51,000,000	80,000,000	0	131,000,000
仲道子供音楽事業資産	8,550,024	0	1,344,871	7,205,153
30周年記念事業積立資産	20,000,000	0	20,000,000	0
文化芸術活動助成事業積立資産	25,000,000	0	2,476,683	22,523,317
退職給付引当率増対策積立資産	49,700,000	0	3,779,128	45,920,872
オークラ助成事業資産	0	750,027	0	750,027
運用財産積立資産	400,000,000	0	0	400,000,000
小計	1,129,135,703	154,616,685	59,062,282	1,224,690,106
合計	3,268,904,470	454,616,685	359,062,282	3,364,458,873

※資産額に変更のない運用替えについては、当期増加額及び当期減少額から除外している。

(4) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	1,790,000,000	—	(1,790,000,000)	—
定期預金	349,768,767	—	(349,768,767)	—
小計	2,139,768,767	—	(2,139,768,767)	—
特定資産				
退職給付引当資産	321,027,298	—	—	(321,027,298)
事業基金	183,144,305	(183,144,305)	—	—
広域文化基金	8,119,134	—	(8,119,134)	—
ピアノコンクール積立資産	105,000,000	—	(105,000,000)	—
大型公演事業積立資産	131,000,000	—	(131,000,000)	—
仲道子供音楽事業資産	7,205,153	(7,205,153)	—	—
文化芸術活動助成事業積立資産	22,523,317	—	(22,523,317)	—
退職給付引当率増対策積立資産	45,920,872	—	(45,920,872)	—
オークラ助成事業資産	750,027	(750,027)	—	—
運用財産積立資産	400,000,000	—	(400,000,000)	—
小計	1,224,690,106	(191,099,485)	(712,563,323)	(321,027,298)
合計	3,364,458,873	(191,099,485)	(2,852,332,090)	(321,027,298)

(5) 担保に供している資産

該当なし。

(6) 保証債務等の偶発債務

該当なし。

(7) 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
地方債 静岡県 令和6年度第11回	100,000,000	98,990,000	△ 1,010,000
地方債 静岡県 平成29年度第8回	300,000,000	295,020,000	△ 4,980,000
地方債 静岡県 令和2年度第5回	300,000,000	283,530,000	△ 16,470,000
地方債 静岡県 令和6年度第6回	100,000,000	96,600,000	△ 3,400,000
地方債 静岡県 令和6年度第7回	100,000,000	94,940,000	△ 5,060,000
地方債 埼玉県 平成30年度第9回	400,000,000	384,680,000	△ 15,320,000
地方債 福井県 令和6年度第2回	100,000,000	96,430,000	△ 3,570,000
地方債 浜松市 平成27年度第1回	160,000,000	159,600,000	△ 400,000
地方債 浜松市 令和4年度第1回	330,000,000	315,084,000	△ 14,916,000
合計	1,890,000,000	1,824,874,000	△ 65,126,000

(8) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照 表上の記 載区分
浜松市原油価格・物価高騰等の影響に伴う指定管理者交付金	浜松市	0	10,122,705	10,122,705	0	—
指定管理者制度導入施設におけるキャッシュレス決済導入に係る交付金	浜松市	0	267,867	267,867	0	
2024 ICOM-SAREC travel grant for Young Members	CIMCIM Travel Grant Committee	0	189,802	189,802	0	
キッズアート講座事業補助金	NPO法人 キッズアート プロジェクト しずおか	0	100,000	100,000	0	
合計		0	10,680,374	10,680,374	0	

(9) 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
特定資産受取利息	3,832
受取仲道子供音楽事業資産	1,344,871
合 計	1,348,703

(10) 関連当事者との取引の内容

該当なし。

(11) 重要な後発事象

該当なし。

(12) 退職給付関係

ア 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けている。退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算している。

イ 確定給付制度

(ア) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	293,622,240円
退職給付費用	28,866,658円
<u>退職給付の支払額</u>	<u>△ 1,461,600円</u>
退職給付引当金の期末残高	321,027,298円

(イ) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

<u>非積立型制度の退職給付債務</u>	<u>321,027,298円</u>
貸借対照表に計上された負債	321,027,298円
<u>退職給付引当金</u>	<u>321,027,298円</u>
貸借対照表に計上された負債	321,027,298円

(ウ) 退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用	28,866,658円
----------------	-------------

(13) リース取引関係

ア ファイナンス・リース取引

(ア) 所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他固定資産

- ・アクトシティ施設における施設予約システム・パソコン等機器（什器備品）
- ・アクトシティ施設におけるWi-Fiネットワーク機器（什器備品）
- ・アクトシティ施設におけるプロジェクター機器等（コンgresセンター）（什器備品）
- ・アクトシティ施設におけるNAS機器等（什器備品）
- ・アクトシティ施設におけるプロジェクター機器等（中ホール等）（什器備品）
- ・会計システム機器（什器備品）

4 附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載しているため内容の記載を省略する。

(2) 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	27,811	26,458	13,129	14,682	26,458
賞与引当金	30,310,011	31,111,398	30,310,011	0	31,111,398
役員賞与引当金	426,660	492,000	426,660	0	492,000
退職給付引当金	293,622,240	28,866,658	1,461,600	0	321,027,298

(注) 貸倒引当金の当期減少額のその他は、洗替による戻入額である。

5 財産目録

令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	1,597,825
	普通預金	静岡銀行浜松中央支店	運転資金として	455,022,907
	定期預金	浜松磐田信用金庫本店営業部	運転資金として	100,000,000
	未収金	浜松市他	公益目的事業に係る未収事業収入他	132,288,424
	未収利息	静岡県債他	基本財産利息収入他	1,848,753
	前払金	Ikon Arts Management Ltd.他	公益目的事業に係る委託費他	7,998,442
	立替金	㈱豊田フルト他	公益目的事業に係る楽器修繕立替	169,543
	棚卸資産	CD、書籍他	公益目的事業に係る商品	4,617,812
	貸倒引当金			△ 26,458
流動資産合計				703,517,248
(固定資産)				
基本財産				
	投資有価証券		共用財産であり、運用益を公益目的事業及び管理運営費の財源として使用している。	1,790,000,000
		静岡県債(平成29年度第8回)		300,000,000
		静岡県債(令和2年度第5回)		300,000,000
		静岡県債(令和6年度第6回)		100,000,000
		静岡県債(令和6年度第7回)		100,000,000
		埼玉県債(平成30年度第9回)		400,000,000
		福井県債(令和6年度第2回)		100,000,000
		浜松市債(平成27年度第1回)		160,000,000
		浜松市債(令和4年度第1回)		330,000,000
	定期預金		共用財産であり、運用益を公益目的事業及び管理運営費の財源として使用している。	349,768,767
		浜松磐田信用金庫本店営業部		768,767
		浜松磐田信用金庫本店営業部		337,000,000
		静岡銀行浜松中央支店		12,000,000
			基本財産計	2,139,768,767
特定資産				
	退職給付引当資産	(定)浜松磐田信用金庫本店営業部	職員に対する退職金の支払いに備えた財産	321,027,298
	事業基金	(定)浜松磐田信用金庫本店営業部	寄附により受け入れた資産で、寄附者の定めた用途に従い使用している財産	183,144,305
	広域文化基金	(定)浜松磐田信用金庫本店営業部	寄附により受け入れた資産で、公益事業の用に供している財産	8,119,134
	ピアノコンクール積立資産	(定)静岡銀行浜松中央支店	浜松国際ピアノコンクール事業に使用するための特定費用準備資金である。	105,000,000
	大型公演事業積立資産	(定)静岡銀行浜松中央支店	大型公演事業に使用するための特定費用準備資金である。	131,000,000
	仲道子供音楽事業資産	(定)静岡銀行浜松中央支店	寄附により受け入れた資産で、仲道氏による子供音楽事業の用に供している財産	7,205,153
	文化芸術活動助成事業積立資産	(定)静岡銀行浜松中央支店	文化芸術活動の助成事業に使用するための特定費用準備資金である。	22,523,317
	退職給付引当率増対策積立資産	(定)静岡銀行浜松中央支店	退職給付引当の率が増加する年度に使用するための特定費用準備資金である。	45,920,872
	オーケラ助成事業資産	(定)静岡銀行浜松中央支店	寄附により受け入れた資産で、浜松市出身・在住の若手音楽家の事業開催の助成事業の用に供している財産	750,027
	運用財産積立資産		運用益を管理運営費の財源としている。	400,000,000
		静岡県債(令和6年度第11回)		100,000,000
		(定)静岡銀行浜松中央支店		300,000,000
			特定資産計	1,224,690,106

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
その他固定資産	建物附属設備	事務所受付部分パーテーション 浜松市中央区板屋町 111-1	共用財産であり、公益目的事業及び 収益事業の用に供している。	1	
	什器備品	事務所受付カウンター 浜松市中央区板屋町 111-1	共用財産であり、公益目的事業及び 収益事業の用に供している。	1	
	ソフトウェア	AI 音声合成ソフト 浜松市中央区板屋町 111-1	公益目的事業の用に供している。	950,400	
	リース資産				35,977,601
		施設予約システム・パソコン等機器		共用財産であり、公益目的事業及び 収益事業の用に供している。	11,068,640
		Wi-Fi ネットワーク機器			1,633,694
		プロジェクター機器等(コンgres)			1,716,000
		NAS 等機器			3,105,667
		プロジェクター機器等(中ホール等)			10,560,000
		会計システム	管理運営の用に供している。	7,893,600	
		その他固定資産計	36,928,003		
固定資産合計				3,401,386,876	
資産合計				4,104,904,124	
(流動負債)	未払金 前受金 預り金 リース債務	(株)ステージ・ループ他	各事業に係る未払金	152,808,687	
		(株)サンデーフォークプロモーション他	施設利用料金等の前受金	92,195,819	
		職員他	社会保険料徴収額等の預り金	22,917,744	
				12,080,595	
		施設予約システム・パソコン等機器	公益目的事業及び収益事業の業務 に使用している機器の債務	5,599,173	
		Wi-Fi ネットワーク機器		577,641	
		プロジェクター機器等(コンgres)		571,736	
		NAS 等機器		925,470	
		プロジェクター機器等(中ホール等)		2,622,478	
		会計システム	管理運営の業務に使用している機器 の債務	1,784,097	
賞与引当金 役員賞与引当金	職員に対するもの	職員の賞与の引当金	31,111,398		
	役員に対するもの	役員の賞与の引当金	492,000		
流動負債合計				311,606,243	
(固定負債)	リース債務			24,270,331	
		施設予約システム・パソコン等機器	公益目的事業及び収益事業の業務 に使用している機器の債務	5,665,573	
		Wi-Fi ネットワーク機器		1,081,650	
		プロジェクター機器等(コンgres)		1,181,029	
		NAS 等機器		2,223,424	
	プロジェクター機器等(中ホール等)		7,972,336		
	会計システム	管理運営の業務に使用している機器 の債務	6,146,319		
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員の退職給付金の引当金	321,027,298	
固定負債合計				345,297,629	
負債合計				656,903,872	
正味財産				3,448,000,252	